

三重県立看護大学講義棟・機械棟屋上防水改修工事

設計図

図 面 リ ス ト					
建 築 工 事					
A-01	建築工事特記仕様書（改修）1	A-21	講堂 1階平面図		
A-02	建築工事特記仕様書（改修）2	A-22	講堂 改修前 2階平面図、屋根伏図、仕上表		
A-03	建築工事特記仕様書（改修）3	A-23	講堂 改修後 2階平面図、屋根伏図		
A-04	建築工事特記仕様書（改修）4	A-24	講堂 断面図		
A-05	建築工事特記仕様書（改修）5				
A-06	建築工事特記仕様書（改修）6				
A-07	建築工事特記仕様書（改修）7				
A-08	配置図兼仮設計図図（案）				
A-09	講義棟 1階平面図				
A-10	講義棟 改修前 2階平面図、仕上表				
A-11	講義棟 改修後 2階平面図				
A-12	講義棟 3階平面図				
A-13	講義棟 改修前 塔屋平面図、仕上表				
A-14	講義棟 改修後 塔屋平面図				
A-15	講義棟 断面図1				
A-16	講義棟 断面図2				
A-17	機械棟 1階平面図				
A-18	機械棟 改修前 2階平面図、仕上表				
A-19	機械棟 改修後 2階平面図				
A-20	機械棟 断面図				

公益財団法人
三重県建設技術センター

(4.3.5)(6) (4.3.11)(4.4.9) (図4.3.1)	・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 アンカーピンの本数 ・ 標準 ・ () 材料 ・ ステンレス鋼 (S U S 3 0 4) ・ ()																																																																		
(4.3.5)(6) (4.3.12)(4.4.10) (図4.3.2)	・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ () 材料 ・ ステンレス鋼 (S U S 3 0 4) ・ ()																																																																		
(4.3.5)(6) (4.3.13)(4.4.11) (図4.3.2)	・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ () 材料 ・ ステンレス鋼 (S U S 3 0 4) ・ ()																																																																		
(4.3.5)(7) (4.3.14)(4.4.12) (図4.3.3)	・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 注入口付アンカーピンの本数 ・ 標準 ・ () 材料 ・ ステンレス鋼 (S U S 3 0 4) ・ () 呼び径 ・ 6mm ・ () 注入量 ・ ()																																																																		
(4.3.5)(7) (4.3.15)(4.4.13) (図4.3.4)	・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ () 材料 ・ ステンレス鋼 (S U S 3 0 4) ・ () 呼び径 ・ 6mm ・ ()																																																																		
(4.3.5)(7) (4.3.16)(4.4.14) (図4.3.4)	・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 注入口付アンカーピンの本数及び注入口の配置 ・ 標準 ・ () 材料 ・ ポリマーセメントスラリー () ・ 注入口付アンカーピン (・ ステンレス鋼 (S U S 3 0 4) ・ ()) 呼び径 ・ 6mm ・ ()																																																																		
(4.4.15)	・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定法 注入口付アンカーピンの本数 ・ () 材料 ・ ステンレス鋼 (S U S 3 0 4) ・ () 呼び径 ・ 6mm ・ ()																																																																		
(4.4.5)	タイル部分張替え工法及びタイル張替え工法 施工箇所 形状 寸法 耐滑り性 標準・特注色の別 耐凍害性の有無 ・ 役物 (・ 一体成型 ・ 接着加工) 外壁タイル接着張りのシーリング材 打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ・ () 伸縮調整目地及びその他の目地 ・ ()																																																																		
(4.4.7)	・ タイル部分張替え工法 張替え材料 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 接着剤 (一液反応硬化形成成シリコーン樹脂) (目地詰め ・ 有り ・ 無し) 一か所当たりの張替え面積が0.25㎡を超える箇所 ・ 有り ・ 無し																																																																		
(4.4.5) (4.4.8) (表4.4.2)	・ タイル張替え工法 タイルの種類 タイルの大きさ 工法 備考 ・ 外装 タイル 小口平二丁掛100角 ・ 密着張り ・ 現場調合モルタル ・ 改良圧着張り ・ 既調合モルタル 小口以上二丁掛け以下 目地詰め ・ 有り ・ 無し ・ ユニットタイル 50二丁掛以下 ・ マスク張り ・ 現場調合モルタル ・ モザイクタイル貼り ・ 既調合モルタル ・ 接着剤張り 目地詰め ・ 有り ・ 無し																																																																		
(4.4.8)(3)	試験張り ・ 行う ・ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない																																																																		
(4.4.8)(8)	有機系接着剤張りのコンクリート素地面の下地処理の方法 ・ () 下地調整塗材塗りの接着力試験 ・ 行う ・ 行わない																																																																		
(4.4.5)(5) (4.4.16)	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地 (位置 寸法 ×) 検査 シーリング接着性試験 ・ 行う (・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験)																																																																		
④ 塗り仕上げ (4.5.4)	既存塗膜等の除去及び下地処理 工法 処理範囲 ・ サンダー工法 ・ 高圧水洗工法 ・ 塗膜はく離剤工法 ・ 水洗い工法 (・ デッキブラシ ・ 高圧ポンプ)																																																																		
(4.5.5) (4.5.2) (表4.5.1(その1) (その2))	<table><tr><th>種 類</th><th>呼び名</th><th>仕上げ形状</th><th>工 法</th><th>下地調整</th><th>備 考</th></tr><tr><td rowspan="4">薄付け仕上塗材</td><td rowspan="4">・ 外装薄塗材 E</td><td>・ 砂壁状</td><td rowspan="2">吹付け</td><td rowspan="4">・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()</td><td rowspan="4"></td></tr><tr><td>・ ゆず肌状</td></tr><tr><td>・ 平たん状</td><td colspan="3" rowspan="2">こて</td></tr><tr><td>・ 凹凸状</td></tr><tr><td rowspan="4">厚付け仕上塗材</td><td rowspan="4">・ 外装厚塗材 C</td><td>・ ゆず肌状</td><td rowspan="2">ローラー</td><td rowspan="4">・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()</td><td rowspan="4">上塗材 ・ セメントスタッコ ・ ()</td></tr><tr><td>・ 凹凸状</td></tr><tr><td>・ ひき起し</td><td colspan="3" rowspan="2">こて</td></tr><tr><td>・ 掻き落とし</td></tr><tr><td rowspan="4">厚付け仕上塗材</td><td rowspan="4">・ 外装厚塗材 Si ・ 外装厚塗材 E</td><td>・ 吹放し</td><td rowspan="2">吹付け</td><td rowspan="4">・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()</td><td rowspan="4"></td></tr><tr><td>・ 凸部処理</td></tr><tr><td>・ 平たん状</td><td colspan="3" rowspan="2">こて</td></tr><tr><td>・ 凹凸状</td></tr><tr><td rowspan="4">複層仕上塗材</td><td rowspan="4">・ 複層塗材 E ・ 複層塗材 RE ・ 防水形複層塗材 E ・ 防水形複層塗材 RE</td><td>・ ゆず肌状</td><td rowspan="2">ローラー</td><td rowspan="4">・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()</td><td rowspan="4">耐候性 ・ 耐候形 3 種 ・ ()</td></tr><tr><td>・ 凸部処理</td></tr><tr><td>・ 凹凸状</td><td colspan="3" rowspan="2">吹付け</td></tr><tr><td>・ 凸部処理</td></tr><tr><td rowspan="4">可とう形改修用 仕上塗材</td><td rowspan="4">・ 可とう形改修塗材 E ・ 可とう形改修塗材 RE ・ 可とう形改修塗材 CE</td><td>・ 平たん状</td><td rowspan="2">ローラー</td><td rowspan="4">・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()</td><td rowspan="4">耐候性 ・ 耐候形 3 種 ・ ()</td></tr><tr><td>・ さざ波状</td></tr><tr><td>・ ゆず肌状</td><td colspan="3" rowspan="2">吹付け</td></tr><tr><td>・ ゆず肌状</td></tr></table>	種 類	呼び名	仕上げ形状	工 法	下地調整	備 考	薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材 E	・ 砂壁状	吹付け	・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()		・ ゆず肌状	・ 平たん状	こて			・ 凹凸状	厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材 C	・ ゆず肌状	ローラー	・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()	上塗材 ・ セメントスタッコ ・ ()	・ 凹凸状	・ ひき起し	こて			・ 掻き落とし	厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材 Si ・ 外装厚塗材 E	・ 吹放し	吹付け	・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()		・ 凸部処理	・ 平たん状	こて			・ 凹凸状	複層仕上塗材	・ 複層塗材 E ・ 複層塗材 RE ・ 防水形複層塗材 E ・ 防水形複層塗材 RE	・ ゆず肌状	ローラー	・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()	耐候性 ・ 耐候形 3 種 ・ ()	・ 凸部処理	・ 凹凸状	吹付け			・ 凸部処理	可とう形改修用 仕上塗材	・ 可とう形改修塗材 E ・ 可とう形改修塗材 RE ・ 可とう形改修塗材 CE	・ 平たん状	ローラー	・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()	耐候性 ・ 耐候形 3 種 ・ ()	・ さざ波状	・ ゆず肌状	吹付け			・ ゆず肌状
種 類	呼び名	仕上げ形状	工 法	下地調整	備 考																																																														
薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材 E	・ 砂壁状	吹付け	・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()																																																															
		・ ゆず肌状																																																																	
		・ 平たん状	こて																																																																
		・ 凹凸状																																																																	
厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材 C	・ ゆず肌状	ローラー	・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()	上塗材 ・ セメントスタッコ ・ ()																																																														
		・ 凹凸状																																																																	
		・ ひき起し	こて																																																																
		・ 掻き落とし																																																																	
厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材 Si ・ 外装厚塗材 E	・ 吹放し	吹付け	・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()																																																															
		・ 凸部処理																																																																	
		・ 平たん状	こて																																																																
		・ 凹凸状																																																																	
複層仕上塗材	・ 複層塗材 E ・ 複層塗材 RE ・ 防水形複層塗材 E ・ 防水形複層塗材 RE	・ ゆず肌状	ローラー	・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()	耐候性 ・ 耐候形 3 種 ・ ()																																																														
		・ 凸部処理																																																																	
		・ 凹凸状	吹付け																																																																
		・ 凸部処理																																																																	
可とう形改修用 仕上塗材	・ 可とう形改修塗材 E ・ 可とう形改修塗材 RE ・ 可とう形改修塗材 CE	・ 平たん状	ローラー	・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()	耐候性 ・ 耐候形 3 種 ・ ()																																																														
		・ さざ波状																																																																	
		・ ゆず肌状	吹付け																																																																
		・ ゆず肌状																																																																	
(4.6.2)(表4.6.1)	・ マスチック塗材塗り 改修標準仕様書(4.6.2)(表4.6.1)による																																																																		

(表4.5.2)	複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材の種類 樹脂種類 溶媒種類 外 観 ・ アクリル系 溶剤系 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 弱溶剤系 艶有 ・ 艶無 ・ 水系 艶有 ・ 艶無 ・ シリカ系 水系 艶無 ・ 溶剤系 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 弱溶剤系 艶有 ・ 艶無 ・ 水系 艶有 ・ 艶無 ・ アクリル シリコン系 溶剤系 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 弱溶剤系 艶有 ・ 艶無 ・ 水系 艶有 ・ 艶無 ・ 溶剤系 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 弱溶剤系 艶有 ・ 艶無 ・ 水系 艶有 ・ 艶無 ・ ふっ素系 溶剤系 艶有 ・ 艶無 ・ 弱溶剤系 艶有 ・ 艶無 ・ 水系 艶有 ・ 艶無 (注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。
(表4.7.1)	外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法 種類 仕上げの形状 工法 下地調整 仕上塗料 下地準動緩衝材 外壁用塗膜防水材 凹凸状 吹付け C-1 ・ C-2 耐候性 適用する 凸部処理 CM-2 ・ E 耐候性 適用しない ゆず肌状 ローラー () さざ波状 ローラー ()
5 建具改修工事	1 改修工法 (5.1.3) ・ かぶせ工法 ・ カバー工法 ・ 持出し工法 ・ ノンシール工法 ・ 撤去工法 ・ はつり工法 ・ 引抜き工法 2 防火戸 (5.1.4) ・ 例示仕様 ・ 個別認定 (認定番号:) ・ 自動閉鎖機構 ・ 図示 (図面番号:) 3 見本の製作 (5.1.5) ・ 製作する ・ 製作しない 4 防犯建物部品 (5.1.7) ・ 図示 (図面番号:) 5 ブラインドボックス等 (5.1.6)(3) ・ 再使用する ・ 再使用しない 6 アルミニウム製建具 (5.2.2)(5.2.4) (表5.2.1) (表5.2.2) 外部建具の性能等級等 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 結露水の処理方法 ・ 図示 (図面番号:) アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種類 ・ 外部に面する建具 (過酷な環境の屋外) ・ BA-1 ・ BA-2 ・ () ・ 外部に面する建具 (一般的な環境の屋外) ・ BB-1 ・ BB-2 ・ () ・ 内部に面する建具 ・ BC-1 ・ BC-2 ・ () 7 網戸 (5.2.3)(5) ・ 可動式 ・ 固定式 防虫網の材質 ・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製 網目 ・ 16メッシュ ・ 18メッシュ 8 樹脂製建具 (5.3.2)~(5.3.5) (表5.3.1)~(表5.3.3) 外部に面する樹脂製建具の性能等級等 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 日射熱取得性 (等級) ガラス ・ 複層ガラス ・ () 建具枠見込寸法 ・ 図示 (図面番号:) 水切り ・ 図示 (図面番号:) ぜん版 ・ 図示 (図面番号:) 丁番 ・ 改修標準仕様書 (表5.7.3) による ・ 図示 (図面番号:) 9 鋼製建具 (5.4.2) 鋼製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ H2400又はW950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ かつずりの仕上げ ・ H L ・ () (5.4.4) (5.4.6) 標準型鋼製建具 形式 幅 (mm) 高さ (mm) 片開き ・ 900 ・ 950 ・ 2000 親子開き ・ 1200 ・ 1250 ・ 2100 両開き ・ 1800 ・ 1900 10 鋼製軽量建具 (5.5.2) (5.5.5) (5.2.2)(2) (5.5.3) (5.5.4) (5.6.3)(1) (5.2.3)(1) 鋼製軽量建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ H2400又はW950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:) 表面仕上げ ・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ H L ・ 鏡面) ・ () 11 ステンレス製建具 (5.6.2) ステンレス製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) 材料 ・ SUS304 ・ () (5.6.3) (5.6.4) (5.6.5) 表面仕上げ ・ HL仕上げ ・ () 曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ

12 木製建具 (5.7.2)	含水率 ・ A 種 ・ B 種 ・ フラッシュ戸 表面材 ・ () 厚み ・ 改修標準仕様書表5.7.6 表面材の品質等 ・ 改修標準仕様書5.7.2(2)(イ)(a)~(c) ・ () ・ M D F 表表面の状態による区分 ・ () 曲げ強さによる区分 ・ () 接着剤による区分 ・ () 難燃性による区分 ・ () ・ 引戸の召合せかまちをいんろう付きとする ・ かまち戸 見込み寸法 ・ 36mm ・ () かまち及び鏡板の樹種 ・ () ・ ふすま 見込み寸法 ・ 19.5mm ・ () 種別 ・ I 種 ・ II 種 ふすま紙の上張り種類 ・ () 縁の仕上げ ・ () ・ 戸ぶすま 見込み寸法 ・ 30mm ・ () 表面材 ・ () 厚み ・ 改修標準仕様書表5.7.6 表面材の品質等 ・ 改修標準仕様書5.7.2(2)(イ)(a)~(c) ・ () ・ M D F 表表面の状態による区分 ・ () 曲げ強さによる区分 ・ () 接着剤による区分 ・ () 難燃性による区分 ・ () ・ 引戸の召合せかまちをいんろう付きとする 上張りの種類 ・ () ・ 紙張り障子 見込み寸法 ・ 30mm ・ () 枠及びくつずりの材料 ・ () 13 建具用金物 (5.8.2) 金物の見え掛り部等の材質等 ・ 改修標準仕様書 (表5.8.1) による ・ 図示 (図面番号:) (5.8.4) マスターキー ・ 製作する ・ 製作しない 引渡用鍵輪 ・ 必要 ・ 不要 14 自動ドア開閉装置 (5.9.2) (5.9.3) (表5.9.4) (5.9.2)(9) 駆動装置及び検出装置の性能値 (・ 車椅子使用者用便所出入口) ・ 図示 (図面番号:) 引き戸用検出装置の種類 ・ 図示 (図面番号:) 凍結防止措置 ・ あり ・ なし 15 自閉式上吊り引戸装置 (5.10.3) 自閉式上吊り引戸装置の性能値 ・ 改修標準仕様書 (表5.10.1) による ・ () 16 重量シャッター (5.11.2) (5.11.2)(3) (表5.11.1) (5.11.2)(6) (5.11.3) 種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター 耐風圧強度 (Pa以上) 開閉機能 ・ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式 管理用重量シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない ・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・ () 17 軽量シャッター (5.12.2) (表5.12.1) (5.12.3) (5.12.4) 開閉形式 ・ 上部電動式 (手動併用) ・ 手動式 耐風圧強度 (Pa以上) 急降下停止措置 (電動の場合) ・ あり ・ なし スラットの材質及び形状 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 ・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ () JIS G 3322 ・ AZ90 ・ () 18 オーバーヘッドドア (5.13.2) (5.13.3) 型式及び機構 セクション材料 ・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ 耐風圧強度 (Pa以上) 開閉方式 ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 収納形式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーテカル形 ガイドレール ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ 図示 (建具表) 19 板ガラス (5.14.2)(1) (5.14.3) ・ シーリング ・ ガスケット () 20 ガラス割め材 (5.14.2)(2) ・ 図示 (図面番号:) 21 ガラス溝の寸法、形状等 (5.14.3) ・ 図示 (図面番号:) ・ 建具の製造所の仕様による 22 ガラスブロック積み (5.14.5) ガラスブロック 表面形状、寸法、厚さ ・ 図示 (図面番号:) 金属枠、補強材 ・ 図示 (図面番号:) 化粧カバー ・ 図示 (図面番号:) 工法 ・ 図示 (図面番号:) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する。
6 内装改修工事	1 一般事項 (6.1.3)(2) (6.1.3)(3) (6.1.3)(5) 既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲 改修部分 改修範囲 ・ 天井 ・ 壁厚程度 ・ 図示 (図面番号:) ・ 壁 ・ 壁厚程度 ・ 図示 (図面番号:) ・ 床 ・ 壁厚程度 ・ 図示 (図面番号:) (6.1.3)(3) 天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 ・ 壁面から600mm程度 ・ 図示 (図面番号:) (6.1.3)(5) 天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修・既存のまま ・ 図示 (図面番号:) ・ () 2 既存床撤去、下地補修 (6.2.2)(1)(7) (6.2.2)(1)(4) 既存床仕上げ材の除去等 浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 ・ 行う ・ 行わない 合成樹脂塗床材の除去等 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法 3 既存壁撤去、下地補修 (6.3.2) 既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法 ・ ()

備考		公益財団法人 三重県建設技術センター	Job Title 三重県立看護大学講義棟・機械棟屋上防水改修工事	DATE 2026年 - 06月
			Drawing Title 建築工事特記仕様書 (改修) 3	SCALE No Scale
			設計担当者	
			A - 0 3	

4

木下地等

(6.5.2)(1)(4)
(表6.5.1)

(6.5.2)(2)(7)

製材

JAS1083(製材)「製材の日本農林規格」による製材

(6.5.2)(2)(4)
(6.5.2)(2)(9)
(表6.5.2)

JAS1083(製材)「製材の日本農林規格」以外の製材

樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率・図示(図面番号:)

造作材の材面の品質・A種・()

(6.5.6)(1)
(6.5.7)(1)
(6.5.8)(1)
(6.5.9)(1)

樹種

部位

樹種

県産材

・内部間仕切軸組、床組

・窓、出入口

・床板張り

・壁、天井下地

(6.5.2)(3)(7)

造作用集成材

JAS1152(集成材)「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

部位

品名・樹種

見付け材面の寸法・品質・数

厚さ

造作用集成材

・図示(図面番号:)

・図示(図面番号:)

造作用集成材

・図示(図面番号:)

・図示(図面番号:)

・()

化粧張り構造用集成材

・図示(図面番号:)

・()

造作用集成材

・図示(図面番号:)

・()

(6.5.2)(3)(4)

JAS1152(集成材)「集成材の日本農林規格」以外の製材

樹種、寸法、見付け材面の品質・図示(図面番号:)

含水率・15%以下・()

(6.5.2)(4)(7)

造作用単板積層材

JAS0701(単板積層材)「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

部位

品名・寸法

表面の品質

防虫処理

造作用単板積層材

・図示(図面番号:)

・()

・()

(6.5.2)(4)(4)

JAS0701(単板積層材)「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

寸法、表面の品質、防虫処理・図示(図面番号:)

含水率・14%以下・()

(6.5.2)(5)

JAS3079(直交集成材)「直交集成材の日本農林規格」による直交集成材

品名、曲げ強度、種別、接着性能、樹種及び寸法・図示(図面番号:)

(6.5.2)(6)

・合板等

品名(品目)

樹種名

接着の程度

等級

板面の品質

防虫処理等

厚さ

(6.5.3)(1)

接合具等

造作材化粧面の釘打ち・隠し釘打ち・()

(6.5.3)(2)

諸金物

形状、寸法及び材質・図示(図面番号:)

(6.5.5)(1)

・防腐、防蟻処理

適用部位・図示(図面番号:)

保存処理性能区分()

薬剤の塗布等の処理方法()

防腐薬Aに基づく表面処理用木材保存剤・適用する(・薬剤の種類()・適用部材())

ボード原料接着剤への防腐・防蟻処理()

・防虫処理・図示(図面番号:)

・不燃処理材料等

材料

使用箇所

・不燃材料

・準不燃材料

・難燃材料

5

軽量鉄骨天井下地

(6.6.2)
(表6.6.1)
(6.6.3)

野縁等の種類

・屋内・19形・()

・屋外・25形・()

形式及び寸法

・屋外・図示(図面番号:)

・耐震天井・図示(図面番号:)

・ふところ≧3.0m・図示(図面番号:)

(6.6.4)

既存埋込みインサート・使用する・使用しない(※使用する場合は、確認試験を行う)

・行う(図示(図面番号:))・行わない

・確認試験の箇所数(箇所)・確認強度()

耐震性・耐風圧性を考慮した補強・図示(図面番号:)

6

軽量鉄骨壁下地

(6.7.3)

スタッド、ランナー等の種類

・図示(図面番号:)

7

ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り

(6.8.2)
(6.8.2)(1)
(6.8.2)(2)

材料

・ビニル床シート【JIS A 5705(ビニル系床材)】

種類の記号

色柄

厚さ

備考

FS

無地

2.0mm

・ビニル床タイル【JIS A 5705(ビニル系床材)】

種類の記号

色柄

寸法

厚さ

備考

KT

2.0mm

(6.8.2)(3)(7)(4)

・帯電防止床シート又は床タイル

種類

性能

寸法

厚さ

備考

(6.8.2)(3)(9)

・視覚障害者用床タイル

種類

形状

備考

ビニル床タイル

300×300×7.0mm

(6.8.2)(3)(1)

・耐動荷重性床シート

種類

厚さ

備考

(6.8.2)(3)(4)(a)

・防滑性床シート又は床タイル

種類

寸法

厚さ

備考

(6.8.2)(5)

・ゴム床タイル

種類

色柄

寸法

厚さ

備考

(6.8.3)(1)

下地・モルタル塗り・セルフレベリング材塗り・木下地・その他()

(6.8.3)(2)(9)

ビニル床シート張り

熱溶接工法・適用する・適用しない

8

カーペット敷き

(6.9.2)(1)
(表6.9.1)

・織じゅうたん

種別

糸の種類

パイルの形状

帯電性

品質の程度

色柄

・A種・羊毛

・B種・紡糸

・C種・()

・カットパイル

・ループパイル

・カット、ループ併用

・人体帯電圧3KV以下

・6.5

・()

・無地

・柄物

品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)

(6.9.2)(2)
(表6.9.2)

・タフテッドカーペット

パイルの形状

パイル長(mm)

帯電性

工法

品質の程度

・カットパイル

・ループパイル

・カット、ループ併用

・人体帯電圧3KV以下

・グリッパ工法

・()

(6.9.2)(3)
(表6.9.2)

・タイルカーペット

種類

パイルの形状

寸法(mm)

総厚さ(mm)

品質の程度

・カットパイル

・ループパイル

・()

・500×500

・6.5

・()

・()

(6.9.2)(4)

下敷き材

・第2種第2号、厚さ8mm

()

(6.9.2)(5)

見切り、押え金物・適用する(材質、種類及び形状・図示(図面番号:))

(6.9.3)(3)

織じゅうたんの接合方法

・ヒートボンド工法

・()

(6.9.3)(5)

タイルカーペットの敷き方

平場

・市松敷き

・模様流し

・()

階段部分

・市松敷き

・模様流し

・()

9

合成樹脂塗床

(6.10.3)(2)(a)
(表6.10.4)

弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工法

・平滑仕上げ

・防滑仕上げ

・つや消し仕上げ

(6.10.3)(2)(b)

エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類

・薄膜流しのべ仕上げ(・平滑・防滑)

・樹脂モルタル仕上げ(・平滑・防滑)

・薄膜型塗床仕上げ(・平滑)

(6.10.3)(3)
(表6.10.5)~
(表6.10.8)

・釘留め工法

材料

種別

樹種

・フローリングボード(根太張用)

・フローリングボード(直張用)

・複合フローリング(根太張用)

・複合フローリング(直張用)

防湿処理・図示(図面番号:)

(6.11.5)
(表6.11.5)
(表6.11.6)

・接着工法

材種

樹種

厚さ

幅・長さ

・フローリングボード(直張用)

・複合フローリング(直張用)

・A種・B種・C種

・フローリングブロック(直張用)

繊維材・合成樹脂発泡シート・図示(図面番号:)

(6.11.6)

塗替え

下地調整

・()

塗装

・ウレタン樹脂ワニス塗り(1液形、B種)

・オイルステイン塗りのうえワックス塗り

・生地そのままワックス塗り

・()

11

畳敷き

(6.12.2)
(表6.12.1)

種別・A種・B種・C種・D種

・A種の畳床(・JS・J1)

・C種の畳床PS-(・C20・C25・C30)

・D種の畳床KT-(・I・II・III・K・N)

街拵緩型和畳の畳表(JISA5902)・C1・C2

12

せっこうボード張り

(6.13.2)
(表6.13.1)

材種

種別

厚さ(mm)

・せっこうボード

・化粧せっこうボード

・トラバーチン模様

・木目模様

・普通

・ロックウール化粧吸音板

・立体模様

・けい酸カルシウム板

・タイプⅡ0.8FK

(6.13.3)(4)(9)

合板類の張付け

・A種

・B種

(6.13.3)(6)
(表6.13.5)

せっこうボードの目地工法

・継目処理

・突付け(・ベベルエッジ・スクエアエッジ)

・目隠し(・ベベルエッジ・スクエアエッジ)

13

壁紙張り

(6.14.2)

施工箇所

種類

防火性能

・不燃・準不燃

・不燃・準不燃

・不燃・準不燃

(6.14.3)
(表6.14.1)
~(表6.14.3)

素地ごしらえ

下地

種別

モルタル、せっこうプラスター面

・A種・B種

コンクリート面

・A種・B種

せっこうボード面、けい酸カルシウム板面

・A種・B種

14

モルタル塗り

(6.15.3)
(6.15.5)
(6.15.6)

モルタル・現場調査材料・既調査材料

既製目地材・使用する(形状:)

床の目地・図示(図面番号:)

下地処理・壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mm超・図示(図面番号:)

15

タイル張り

(6.16.2)
(6.16.3)

伸縮調整目地

位置

・図示(図面番号:)

(6.16.2)(2)

試験張り・行う・行わない

見本焼き・行う・行わない

既調査モルタル・使用できる・使用できない

(6.16.3)(5)

壁タイル張りの工法

・内装タイル(・密着張り・改良圧着張り)

・ユニットタイル(・マスク張り・モザイクタイル張り)

16

セルフレベリング材塗り

(6.17.2)(6.17.3)

・せっこう系

・セメント系

塗厚()mm

17

断熱材

(9.3.2)

断熱材打込み工法

種類

種別

厚さ(mm)

施工箇所

・ビーズ法ポリスチレンフォーム

・押出法ポリスチレンフォーム

・A種硬質ウレタンフォーム

・フェノールフォーム

(9.3.3)

断熱材現場発泡工法(吹付硬質ウレタンフォーム)

種類

厚さ(mm)

施工箇所

・A種1

・A種1H

・()

・窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所

・()

7

塗装改修工事

1

材料

(7.1.3)

・屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする

・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)

2

合成樹脂調合ベイント塗り(SOP)

(7.5.2~7.5.4)
(表7.5.1)~
(表7.5.3)

下地

種別

素地ごしらえ(新規面)

下地調整(改修面)

錆止め塗料の種別

錆止め塗料塗りの種別

・木部

・A種・B種・C種

・A種・B種

・RA種・RB種・RC種

・A種・B種

・C種

・A種・B種

・C種

・As種

・A種・B種

・C種

・鉄鋼面

・A種・B種・C種

・A種・B種

・RA種・RB種・RC種

・As種

・A種・B種

・C種

・亜鉛めっき鋼面

・A種・B種

・A種・B種

・RA種・RB種・RC種

・As種・Bs種

・C種

3

クリヤラッカー塗り(CL)

(7.6.2)
(表7.6.1)

種別

素地ごしらえ(新規面)

下地調整(改修面)

着色の適用

・A種・B種

・A種・B種

・RA種・RB種・RC種

・適用しない

・溶剤系ステイン

・オイルステイン

4

アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD)

(7.7.2)(表7.7.1)

・A種・B種

5

耐候性塗料塗り(DP)

(7.8.2)~
(7.8.4)
(表7.8.3)

上塗りの等級

・1級(フッ素系)

・2級(シリコン系)

・3級(ポリウレタン系)

【鉄鋼面・亜鉛めっき鋼面】

下地

素地ごしらえ(新規面)

下地調整(改修面)

錆止め塗料の種別

錆止め塗料塗りの種別

・鉄鋼面

・B種

・RA種・RB種・RC種

・As種・Es種

・(1回目)Cs種、(2.3回目)Ds種

・A種・B種

・C種

・亜鉛めっき鋼面

・A種・B種

・RA種・RB種・RC種

・Bs種

――

6

つや有合成樹脂エマルションベイント塗り(EF-G)

(7.9.2)~
(7.9.5)
(表7.9.1)~
(表7.9.4)

【コンクリート面・押出成形セメント板面】

下地

種別

素地ごしらえ(新規面)

下地調整(改修面)

錆止め塗料の種別

錆止め塗料塗りの種別

ひび割れ部の補修

・モルタル面

・A種・B種・C種

・A種・B種

・RA種・RB種・RC種

・行方

・コンクリート面

・A種・B種・C種

・A種・B種

・RA種・RB種・RC種

・行方

・せっこうボード面

・A種・B種・C種

・A種・B種

・RA種・RB種・RC種

・行方

・木部

・A種・B種・C種

・A種・B種

・RA種・RB種・RC種

・A種・B種

・鉄鋼面

・A種・B種・C種

・A種・B種

・RA種・RB種・RC種

・As種・Bs種

・A種・B種

・C種

・亜鉛めっき鋼面

・A種・B種

・A種・B種

・RA種・RB種・RC種

・Cs種

・C種

備考

Job Title

三重県立看護大学講義棟・機械棟屋上防水改修工事

DATE

2026年ー06月

Drawing Title

建築工事特記仕様書(改修)4

SCALE

No Scale

設計担当者

Aー04

公益財団法人

三重県建設技術センター

8 の 5 耐震 改修 工事 あと 施工 アンカー 工事	(あと施工アンカー) 1 あと施工アンカーの材料 (8. 2. 4) (表8. 2. 2)	種類 ・ 金属系 セットの方式 ・ 本体打込み式 (・ 改良型 ・ 従来型) 径及び埋込み長さ ・ 図示 (図面番号:) 引張耐力 ・ 図示 (図面番号:) せん断耐力 ・ 図示 (図面番号:) 接合筋の種類・径・長さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 接着系 カプセル型回転 ・ 打撃式 ・ 有機系 ・ 無機系 径及び埋込み長さ ・ 図示 (図面番号:) 引張耐力 ・ 図示 (図面番号:) せん断耐力 ・ 図示 (図面番号:) アンカー筋の種類 ・ 図示 (図面番号:) アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示 (図面番号:) あと施工アンカーの性能確認試験 ・ 行う ・ 行わない
	2 あと施工アンカーの施工 (8. 12. 4) (8. 12. 6) (8. 12. 7)	穿孔 埋込み配管等の探査の方法 ・ 鉄筋探知機 (金属探知機) により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 ・ はつり出しによる。 ・ () あと施工アンカーの施工確認試験 ・ 実施する ・ 実施しない 試験方法 ・ 引張試験機による引張試験 ・ () 1 ロットの単位 ・ 1 日に施工されたものの径及び仕様ごと ・ () 試験の箇所数 ・ 1 ロットに対し 3 本 (無作為) ・ () 確認強度 ・ () 場所打ちコンクリート壁の増設工事) 3 シアコネクタ 種類 ・ 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー ・ 接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー 径 [mm] ・ D 1 0 長さ [mm] ・ 増打壁厚 4 0 ・ () 形込み深さ [mm] ・ 5 d (d: シアコネクタの径) 以上 ・ () 間隔 [mm] ・ 5 0 0 × 5 0 0 シアコネクタとセパレーターの兼用 ・ 兼用してもよい ・ 兼用しない ・ ()
8 の 6 耐震 改修 工事 鉄骨 工事	1 鉄骨製作工場 (8. 1. 5)	㈱日本鉄骨評価センター又は㈱全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工事の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・ J ・ R ・ M ・ H ・ S
	2 鉄骨製作工場における 施工管理技術者 (8. 1. 6)	施工管理技術者 (鉄骨製作管理技術者、鉄骨工事管理責任者等) の配置 ・ しない ・ する
	3 鋼材 (8. 2. 8)	種類・形状及び寸法 ・ 図示 (図面番号:)
	4 高力ボルト (8. 2. 9) (8. 14. 2) (8. 14. 7)	高力ボルトの適用 ・ トルシア形高力ボルト 2 種 (S10T) ・ JIS形高力ボルト 2 種 (F10T) ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト 1 種 (F8T相当) ねじの呼び ・ 図示 (図面番号:) すべり試験 ・ 行う (試験方法等 図示: 図面番号) JIS形・ナット回転法かつボルト長がねじの呼びの 5 倍を超える場合の回転量 ・ ()
	5 溶接材料 (8. 2. 10)	・ 改修標準仕様書 (8. 2. 10) (1) (2) 以外の溶接材料 材料及び使用箇所 ・ 図示 (図面番号:)
	6 仮組 (8. 13. 10)	仮組の実施 ・ 実施する () ・ 実施しない
	7 溶接作業を行う 技能資格者 (8. 15. 3)	溶接作業における技能資格者の技量付加試験 ・ 実施する () ・ 実施しない
	8 溶接の準備 (8. 15. 4)	開先の形状 ・ 図示 (図面番号:)
	9 溶接施工 (8. 15. 7)	鋼製エンドタブの切断 ・ 適用箇所 図示 (図面番号:) 切断面の仕上げ ・ () 鋼製エンドタブに代わるその他の工法 鋼製エンドタブに代わるその他の工法については、代替エンドタブ (セラミックタブ又はフラックスタブ) を用いたものとし、工法の採用にあたっては、以下の項目の両方とも満足することを条件とし、監督員の承諾を受けること。 1. 相当数の代替エンドタブによる溶接を行ったことがある工場での製作であること。 2. 製作工場が J、R、M グレードの場合は、溶接技能者が N P O 法人日本エンドタブ協会による圆形タブに係るエンドタブ施工講習修了者 (溶接技能者・A 級以上) 又は A W 検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。また、製作工場が H、S グレードの場合は、溶接技能者が A W 検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。こと。 板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部 ・ 低応力高サイクル疲労を受ける部位 図示 (図面番号:) スカラープの形状 ・ 図示 (図面番号:)
	1 0 溶接部の試験 (8. 15. 12)	溶接部の外観試験 ・ 試験方法 () ・ 確認方法 () 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 工場溶接の場合 ・ 全数試験とする ・ 公共建築工事標準仕様書 (令和 7 年度版) (7. 6. 12) (b) による。 平均出検品質限界 (AQL) ・ 4. 0% ・ 2. 5% ・ () 検査水準 ・ 第 6 水準 ・ () ロットの構成 () 工事現場溶接の場合 ・ 全数試験とする ・ 公共建築工事標準仕様書 (令和 7 年度版) (7. 6. 12) (b) による。 平均出検品質限界 (AQL) ・ 4. 0% ・ ()

	1 1	鉄骨の閉止め塗装 (8. 17. 2) (8. 17. 4)	鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面（鉄骨に溶接されたものに限る） ・ 改修標準仕様書(7.4.2)(表7.4.1)（ ）種 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示（図面番号： ） ・ 改修標準仕様書(7.4.2)(表7.4.1)（ ）種 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ・図示（図面番号： ）												
	1 2	耐火被覆の種類及び性能 (8. 18. 2) (8. 18. 3)	<table><tr><th>部位</th><th>種類</th><th>材料・工法</th><th>耐火性能</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	部位	種類	材料・工法	耐火性能								
	部位	種類	材料・工法	耐火性能											
1 3	プレース設置 工事後の仕上げ (8. 22. 9)	・ 図示（図面番号： ）													
1 4	スタッド (8. 2. 11)	スタッドの種類 ・（ ）													
8 の 7		(グラウト工事)													
	1	モルタル及びグラウト材 (8. 2. 6) (8. 2. 12) (表8. 2. 5) (表8. 2. 10)	構造体用モルタル ・ 改修標準仕様書(8.2.6)及び(8.2.12)による。 無収縮モルタル ・ 改修標準仕様書(8.2.12)(1)による ・（ ） グラウト材 ・ 改修標準仕様書(8.2.12)(2)による。 (現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨プレースの設置工事等) 増設の現場打ち鉄筋コンクリート壁と既存構造体との隙間の処置方法 <table><tr><th>部位</th><th>処置方法</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ 増設壁の上部</td><td>・ グラウト材を注入 ・（ ）</td><td>・ 寸法は図示による</td></tr><tr><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td></tr></table>	部位	処置方法	備考	・ 増設壁の上部	・ グラウト材を注入 ・（ ）	・ 寸法は図示による	・（ ）	・（ ）	・（ ）			
	部位	処置方法	備考												
	・ 増設壁の上部	・ グラウト材を注入 ・（ ）	・ 寸法は図示による												
・（ ）	・（ ）	・（ ）													
2	既存構造体との 取合部の処理方法 (8. 21. 9) (8. 22. 7)														
8 の 8		(連続繊維補強工事)													
	1	連続繊維シート 等による工法 (8. 24. 1)	連続繊維による補強、補修工法 ・ (財)日本建築防災協会の評価を受けた工法とする。 ・（ ）												
	2	連続繊維シート 及び含浸接着樹脂等の材料 (8. 2. 13)	連続繊維の材料 ・（ ） 工法 ・（ ） 引張強度（含浸硬化後） ・（ ） ヤング係数（含浸硬化後） ・（ ） 仕上げモルタルの除去 ・ 既存構造躯体面まで除去する ・ モルタル除去は行わない ・（ ） 既存モルタルの圧縮強度測定 ・ 行う（ ） ・ 行わない ひび割れ部の改修工法 ・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法												
	4	鋼板巻き工法及び 帯板巻き付け 工法(8. 23. 6)	柱頭柱脚の隙間寸法 ・ 図示（図面番号： ）												
5	耐震補強後の仕上げ (8. 23. 7) (8. 24. 7)	・ 図示（図面番号： ）													
6	炭素繊維シート の施工	炭素繊維の目付量 ・ 図示（図面番号： ） ・ 200g/m2 ・ 300g/m2 ・（ ） 炭素繊維シートの巻き数 ・ 図示（図面番号： ） ・ 1巻き ・ 2巻き ・（ ） 引張強度試験 ・ 実施する（JIS A1191に準拠する） 試験数量（ ） ・ 実施しない 付着強度試験 ・ 実施する（JIS A6909に準拠する） 試験数量（ ） ・ 実施しない 耐震スリットの種類及び形状 完全スリットの形状													
7	連続繊維補強材 の強度試験 (8. 24. 6)														

8 の 9 耐震補強工事 スリット新設工事 免震改修工事 制振改修工事	(耐震スリット新設工事) 1 スリットの種類 (8. 25. 1) (8. 25. 2)	耐震スリットの種類及び形状 完全スリットの形状 <table><tr><th></th><th>一般型</th><th>一面せん断型</th><th></th></tr><tr><td>記号</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>形状</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td><td></td></tr><tr><td>幅W (mm)</td><td>・ 図示 (図面番号:) ・ ()</td><td>・ 図示 (図面番号:) ・ ()</td><td></td></tr><tr><td>既存鉄筋の処理</td><td>・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()</td><td>・ 切断してよい ・ ()</td><td></td></tr></table> 部分スリットの形状 <table><tr><th></th><th>片側スリット</th><th>両面スリット</th><th></th></tr><tr><td>記号</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>形状</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td><td></td></tr><tr><td>幅W (mm)</td><td>・ 図示 (図面番号:) ・ ()</td><td>・ 図示 (図面番号:) ・ ()</td><td></td></tr><tr><td>目地部の残存厚さ</td><td>・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下</td><td>・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下</td><td></td></tr><tr><td>t_s (mm)</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td></td></tr><tr><td>既存鉄筋の処理</td><td>・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()</td><td>・ 存置する ・ 切断してよい</td><td></td></tr></table> スリット部の配管等の調査 範囲 ・ スリット新設部に伴う鉄筋コンクリートの撤去範囲全て。 ・ 図示 (図面番号:) ・ () 方法 ・ 鉄筋探査機・金属探知器) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 スリットの逃げ位置 壁上端部 ・ 梁との接合部 ・ () 壁の柱きわ部 ・ 柱の仕上げを逃けたきわ部 ・ () 壁下端部 ・ 床仕上げ上部 ・ 床体上部 ・ () 撤去部の補修 ・ 図示 (図面番号:) 充填材 ・ 耐火材 使用箇所 () 仕様 () ・ 遮音材 使用箇所 () 仕様 () 免震改修、制振改修に関する仕様は、図示する。		一般型	一面せん断型		記号				形状	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)		幅W (mm)	・ 図示 (図面番号:) ・ ()	・ 図示 (図面番号:) ・ ()		既存鉄筋の処理	・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ 切断してよい ・ ()			片側スリット	両面スリット		記号				形状	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)		幅W (mm)	・ 図示 (図面番号:) ・ ()	・ 図示 (図面番号:) ・ ()		目地部の残存厚さ	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下		t _s (mm)	・ ()	・ ()		既存鉄筋の処理	・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ 存置する ・ 切断してよい	
		一般型	一面せん断型																																															
	記号																																																	
形状	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)																																																
幅W (mm)	・ 図示 (図面番号:) ・ ()	・ 図示 (図面番号:) ・ ()																																																
既存鉄筋の処理	・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ 切断してよい ・ ()																																																
	片側スリット	両面スリット																																																
記号																																																		
形状	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)																																																
幅W (mm)	・ 図示 (図面番号:) ・ ()	・ 図示 (図面番号:) ・ ()																																																
目地部の残存厚さ	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下																																																
t _s (mm)	・ ()	・ ()																																																
既存鉄筋の処理	・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ 存置する ・ 切断してよい																																																
2 スリットの施工																																																		
3 免震・制振改修 (8. 26. 1) ~ (8. 27. 9)																																																		

8 の 1 0 その他工事	1 土工事 (8. 28. 2) (8. 28. 3)	既存杭の撤去 ・ 図示 (図面番号:) 埋戻し及び盛土の材料及び工法 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 建設発生土の処理 建設発生土は、土砂等の崩落、飛散又は流出による災害の防止及び生活環境の保全上支障が生じないよう、関係法令等に基づき適正に処理すること。 ・ 現場内利用できる ・ 仮置き場所 () ・ 運搬距離 (Km) ・ 現場内利用できない ・ 受入地指定 受入地の条件 ・ 受入先、施工条件、特定条件等 (図面番号:) ・ 運搬距離 (Km) ・ 受入料金あり ・ 受入料金なし ・ 受入地未定につき別途協議する。 暫定運搬距離 (Km) 杭の施工整理 杭工事特記仕様書による。 適用基準 本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。 国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」 (平成28年3月4日) 施工記録 受注者は、杭の施工期間中は、1 週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。 なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと 根拠資料 共通仕様書、特記仕様書及びその他基準等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料 (施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等) は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。 保管期間は契約書第31条第4項又は第5項 (第38条においてこれらの規定を準用する場合を含む。) の規定による引渡しを受けた日から10年とする。 また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。 試験杭及び試験据 ・ 試験杭 位置、本数及び寸法は図示 (図面番号:) による。 ・ 試験据 位置、本数及び寸法は図示 (図面番号:) による。 杭の支持層 支持層の位置、土質、杭の根入れ長さ ・ 図示 (図面番号:) ・ () 水平方向の位置ずれの精度 ・ () mm以下
	2 地盤工事 (8. 28. 4)	

備考		公益財団法人 三重県建設技術センター	Job Title 三重県立看護大学講義棟・機械棟屋上防水改修工事 Drawing Title 建築工事特記仕様書 (改修) 6 設計担当者	DATE 2026年ー06月 SCALE No Scale Aー06

杭の載荷試験
試験方法 ・鉛直載荷 ・水平載荷 ・()
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置 ・図示(図面番号:) 載荷荷重 (kN)
報告書 ・提出部数 2部

地盤の載荷試験
試験方法 ・平板載荷 ・()
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置 ・図示(図面番号:) 載荷荷重 (kN)
報告書 ・提出部数 2部

杭地業の工法、寸法
・図示(図面番号:)

杭頭処置
・行う ・行わない

砂利及び砂地業
範囲 ・図示(図面番号:) 厚さ(mm) ・60 ・()

捨てコンクリート地業
範囲 ・図示(図面番号:) 厚さ(mm) ・50 ・()

1石綿含有建材の除去工事
(9.1.1)

・石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)
・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 箇所
・	測定 2		調査対象室外部の付近	計 箇所
・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	計 箇所
・	測定 4		負圧・除じん装置の排出吹出し口	出口吹出し風速1m/s以下の位置 計 箇所
・	測定 5		処理作業室外(敷地境界)	計 箇所
・	測定 6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計 箇所
・	測定 7	処理作業後シート撤去後1週間以降	処理作業室内	計 箇所
・	測定 8		調査対象室外部の付近	計 箇所

測定方法

	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8	測定 5
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47
試料の吸引流量(L/min)	・1 ・()	・5 ・()	・10 ・()
試料の吸引時間(min)	・5 ・()	・120 ・()	・240 ・()

(9.1.3)

・石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲 ・図示(図面番号:)
除去工法 ・改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による ・()
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止
・湿潤化 ・固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(熔融又は無害化による)

(9.1.4)

・石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲 ・図示(図面番号:)
除去方法 ・改修標準仕様書9.1.4(1)による ・()
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(熔融又は無害化による)

(9.1.5)

・石綿含有成形板の除去
除去対象範囲 ・図示(図面番号:)
石綿含有せっこうボードの処分
・埋立処分(管理型最終処分場)

石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板の処分
・埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(熔融又は無害化による)

(9.1.6)

・石綿含有仕上塗材の除去
除去対象範囲 ・図示(図面番号:)
除去工法 ・()
除去した石綿含有仕上塗材等の処分
・埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(熔融又は無害化による)
汚泥としての処理 ・必要 ・不要

※大気汚染防止法および石綿障害予防規則に加え、「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル(令和7年3月訂正事項を反映)」に基づき適切に処理すること。

・除去等作業の結果報告
除去等作業が終了したときは環境省令で定めるところにより、その結果を遅滞なく発注者に書面で報告すること。

2外断熱改修工事
(9.2.2)

断熱材

種類	厚さ[mm]
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキンなし)	
・硬質ウレタンフォーム断熱材	
・フェノールフォーム断熱材	
・ロックウール断熱材	
・グラスウール断熱材	
・()	

施工箇所
・図示(図面番号:) ・()

外装材

種類	防火性能	備考
・		

(9.2.3)

既存外壁の措置
既存外壁仕上げ材の撤去 ・あり ・なし
下地面の清掃 ・行う ・行わない
欠損部の改修工法 ・充填工法 ・モルタル塗替え工法 ・()

(9.2.4)

工法
通気層の有無 ・あり(mm) ・なし
断熱材の施工 ・断熱材製造所の仕様による ・()
外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による ・()
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法)
・適用しない
不陸等の下地調整 ・行う

・断熱材打込み工法

(9.3.2)

断熱・防露改修工事

断熱材

種類	厚さ[mm]
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキンなし)	
・硬質ウレタンフォーム断熱材	
・フェノールフォーム断熱材	
・()	

施工箇所 ・図示(図面番号:) ・()

(9.3.3)

・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ・A種1 ・A種H ・()
厚さ(mm) ・25 ・30 ・()
施工箇所 ・図示(図面番号:)

・現場発泡断熱材
(品質・性能)
工事建築材料等品質性能表による
(試験方法)
工事建築材料等品質性能表による

(9.3.4)

断熱材後張り工法

種類	せっこうボード等の張り付け	厚さ[mm]
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・有 ・無	
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・有 ・無	
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・有 ・無	
・フェノールフォーム断熱材	・有 ・無	
・()	・有 ・無	

施工箇所 ・図示(図面番号:) ・()

4屋上緑化改修工事

(9.4.1)

植栽基盤及び材料
屋上緑化軽量システム
・適用する ・適用しない
芝及び地被類の樹種並びに種類等 ・図示(図面番号:) ・()
(9.4.2) 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ・図示(図面番号:) ・()

(9.4.3)

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
・適用しない
かん水装置 ・設置する(種類 ・)
既存保護層の撤去 ・行う ・行わない

5透水性アスファルト舗装改修工事
(9.5.2)～
(9.5.7)
(9.5.9)

既存舗装の撤去及び再利用
・図示(図面番号:) ・()

路床

種別	材料	厚さ[mm]
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・図示(図面番号:) ・()
・凍上抑制層	・再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (7μmふるい通過量10%以下) ・()	・図示(図面番号:) ・()
・フィルター層	・砂 ・()	・図示(図面番号:) ・()

路床安定処理
・添加材料による安定処理
種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種
・生石灰(・特号 1号) ・消石灰(・特号 1号)
添加量(kg/m2) (目標CBR ・5以上 ・)

・ジオテキスタイル
単位面積質量 ・60g/m2以上 ・()
厚さ[mm] ・0.5～1.0 ・()
引張強さ ・98N/5cm(10kgf/5cm) 以上 ・()
透水係数 ・1.5×10⁻² -1cm/sec 以上 ・()

試験
路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない
路床締固め度の試験 ・行う ・行わない
現場CBR試験 ・行う ・行わない

路盤
路盤の構成及び厚さ ・図示(図面番号:) ・()
路盤材料 ・再生材のクラッシャーラン
・クラッシャーラン鉄鋼スラグ
・図示(図面番号:)
・()

試験
路盤締固め度の試験 ・行う ・行わない

舗装

材料	厚さ[mm]
ストレータスファルト	・図示(図面番号:) ・()

試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない
舗装の平たん性 ・著しい不陸がないもの ・()

備考

公益財団法人
三重県建設技術センター

Job Title
三重県立看護大学講義棟・機械棟屋上防水改修工事

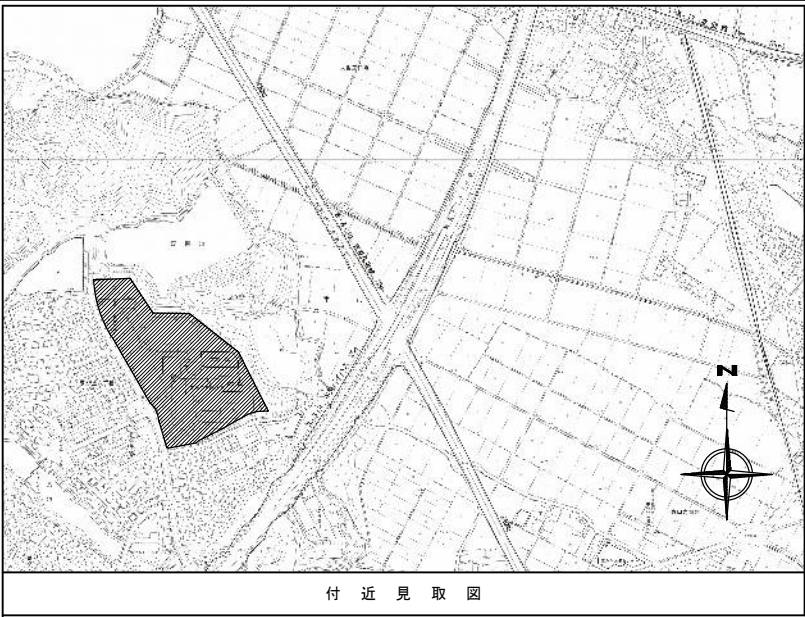
DATE
2026年ー06月

Drawing Title
建築工事特記仕様書(改修) 7

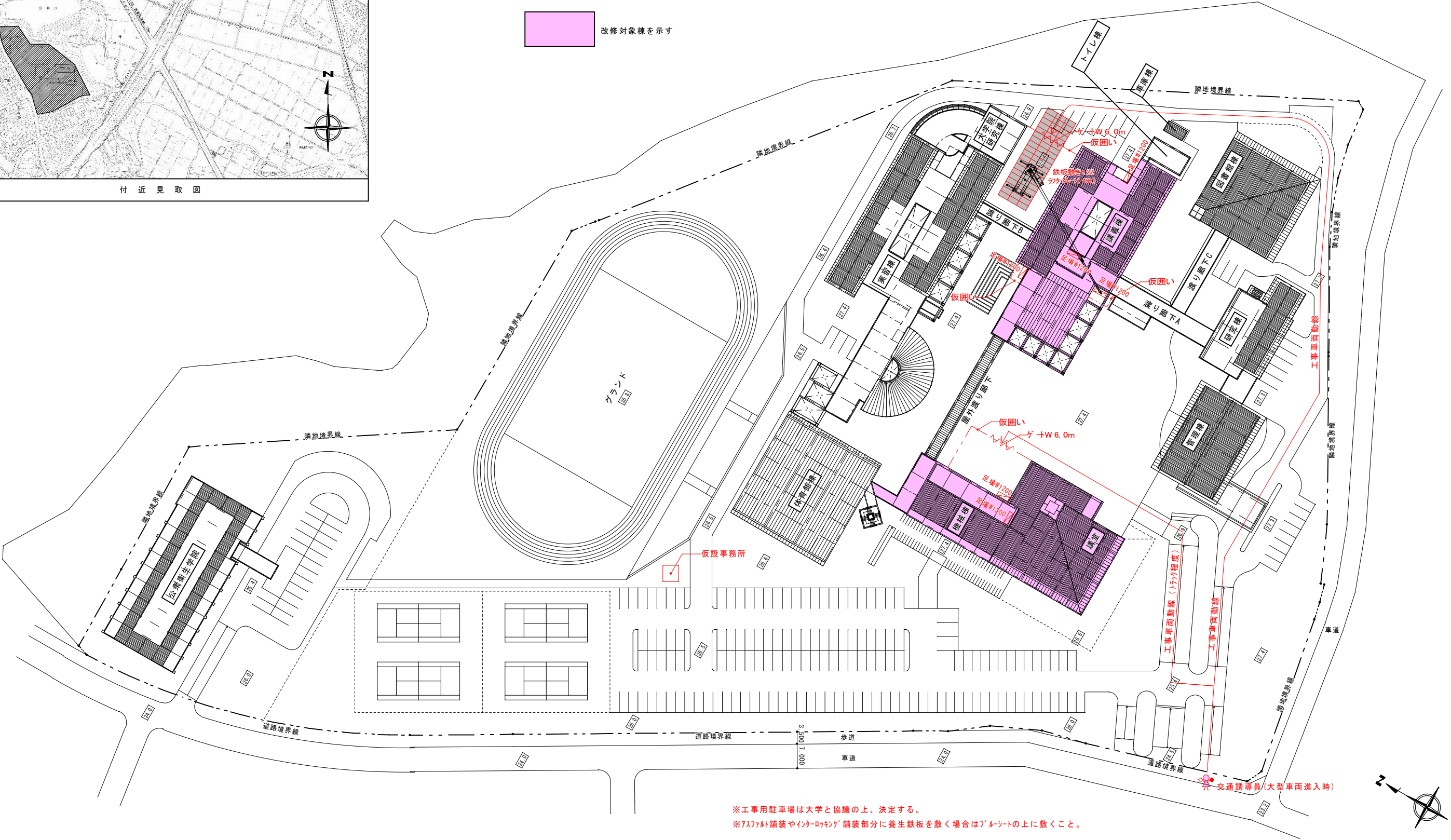
SCALE
No Scale

設計担当者

Aー07



改修対象棟を示す

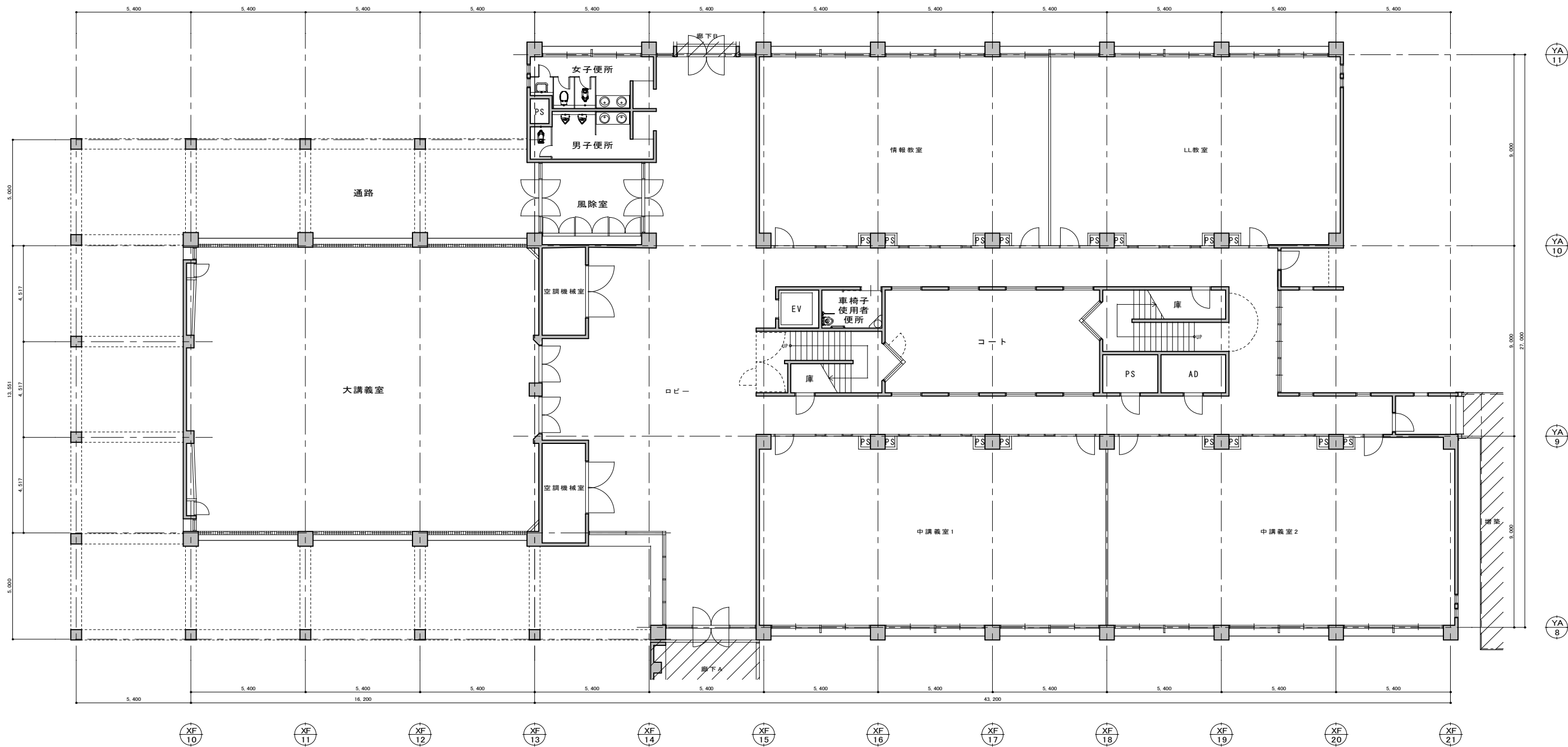


※工事用駐車場は大学と協議の上、決定する。
※アスファルト舗装やインフラロッキング舗装部分に養生鉄板を敷く場合はブルーシートの上に敷くこと。

備考	

公益財団法人
三重県建設技術センター

Job Title	三重県立看護大学講義棟・機械棟屋上防水改修工事	DATE	2026年 - 06月
Drawing Title	配置図兼仮設計画図(案)	SCALE	A2:1/800 A3:1/1120
設計担当者		A - 0 8	

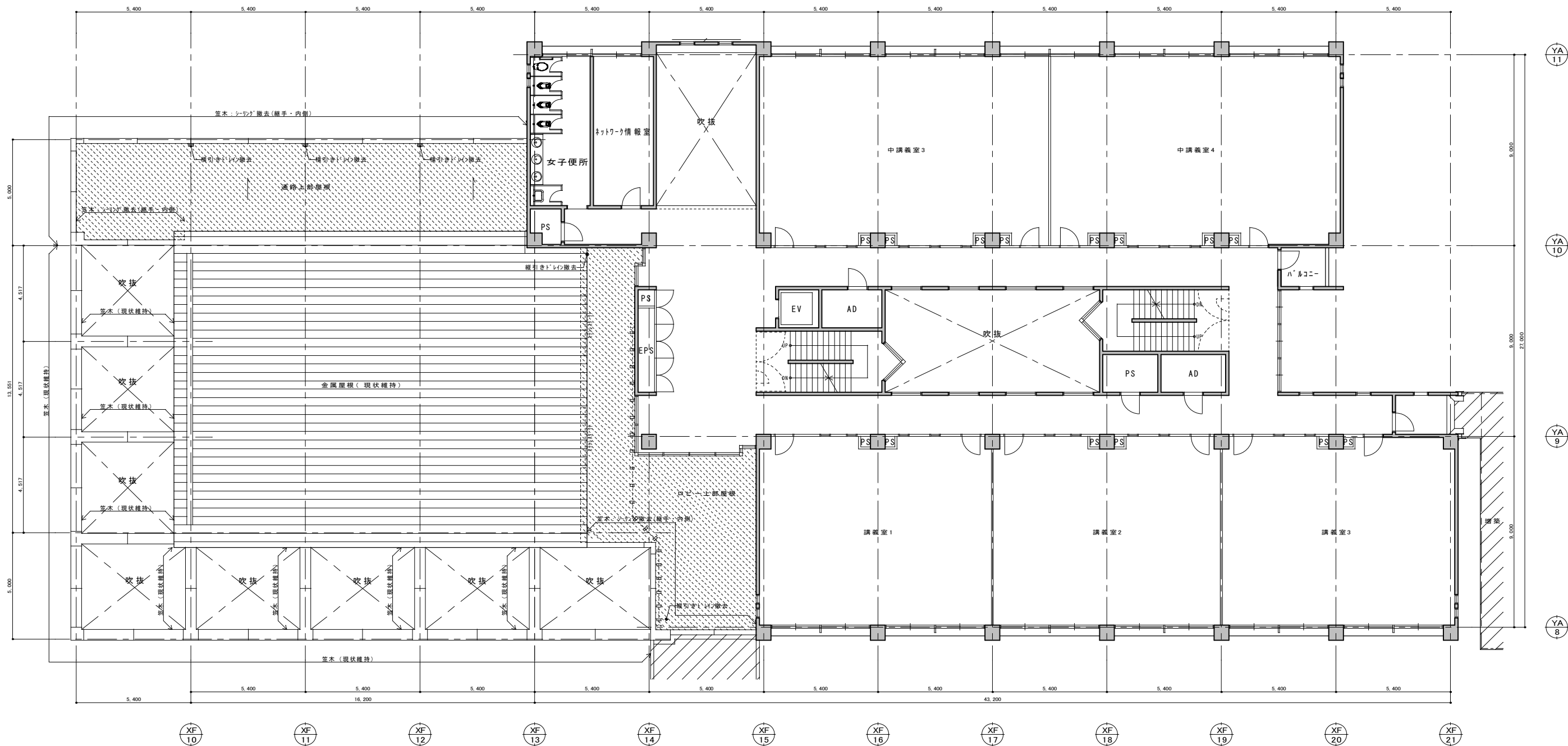


1 階平面図 S:1/100

改修対象外建物を示す。

備 考		公益財団法人 三重県建設技術センター	Job Title 三重県立看護大学講義棟・機械棟屋上防水改修工事						DATE 2026年ー06月	
			Drawing Title 講義棟 1階平面図						図面名称 A1:1/100 A3:1/200	
			設計者						A-09	

仕上表	
ロビー上部屋根	平 面：アスファルト露出防水撤去、下地処理、塗膜防水 X-1工法 新設（撤去後、仮防水を行うこと。）
	立上り：アスファルト露出防水撤去、下地処理、塗膜防水 X-2工法 新設（撤去後、仮防水を行うこと。）
	ステンレス脱気筒 新設（2ヶ所）
通路上部屋根	平 面：アスファルト露出防水撤去、下地処理、塗膜防水 X-1工法 新設（撤去後、仮防水を行うこと。）
	立上り：アスファルト露出防水撤去、下地処理、塗膜防水 X-2工法 新設（撤去後、仮防水を行うこと。）
	ステンレス脱気筒 新設（2ヶ所）
ドレイン	鋳鉄製縦引きドレイン 撤去、縦引き二重ドレイン新設（塩ビ製）
	鋳鉄製横引きドレイン 撤去、横引き二重ドレイン新設（塩ビ製）
アルミ笠木	笠木：現状維持 継手・立上り(内側)：シーリングMS-2 15x10 撤去、新設



2 階平面図 S:1/100

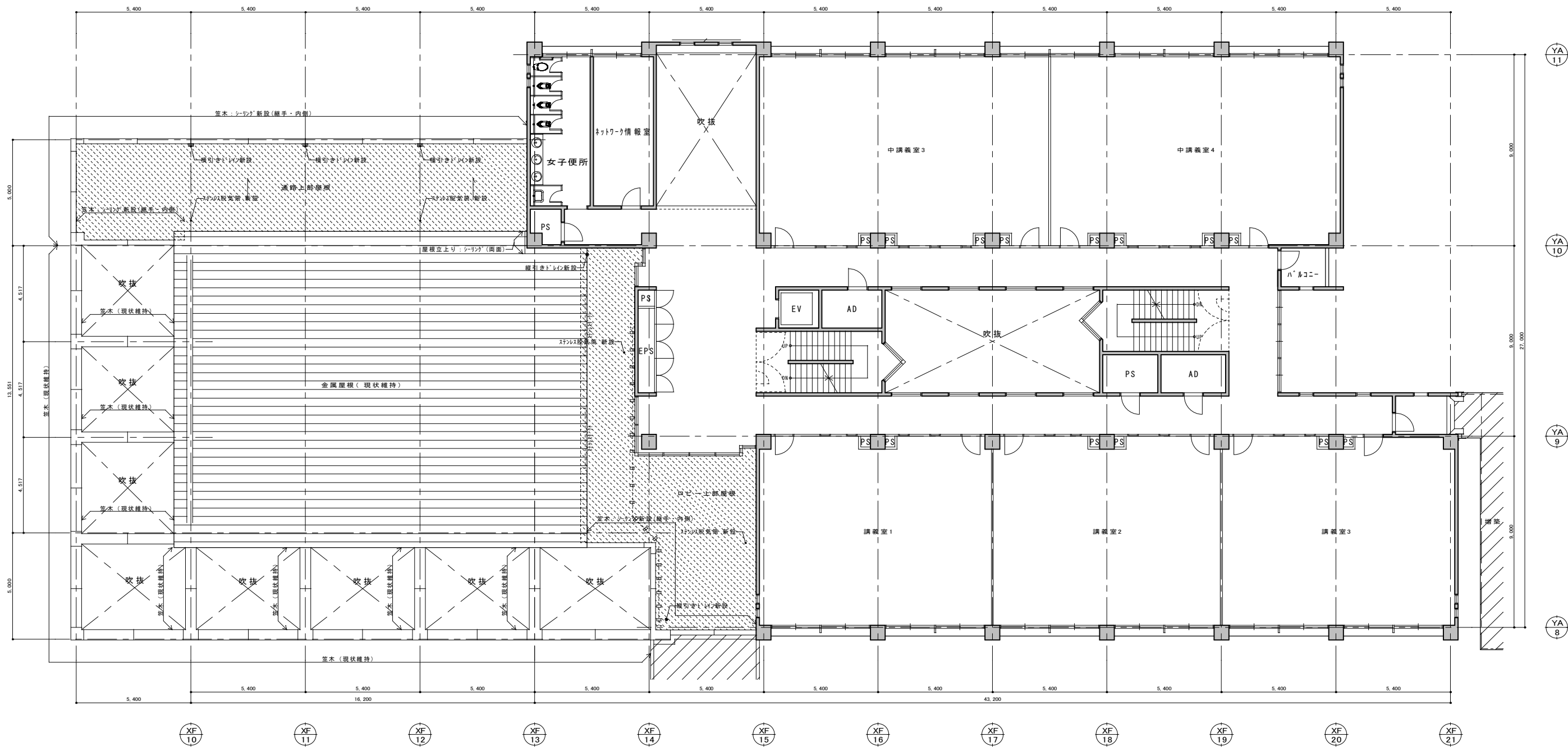
改修対象外建物を示す。

屋根：平面・立上り アスファルト露出防水撤去

ドレイン：縦引きドレイン撤去

ドレイン：横引きドレイン撤去

備 考		公益財団法人 三重県建設技術センター	Job Title	三重県立看護大学講義棟・機械棟屋上防水改修工事	Date	2024年 〇 〇月
			Drawing Title	講義棟 改修前 2 階平面図、仕上表	Scale	A1:1/100 A3:1/200
			設計図書			
			A - 1 〇			



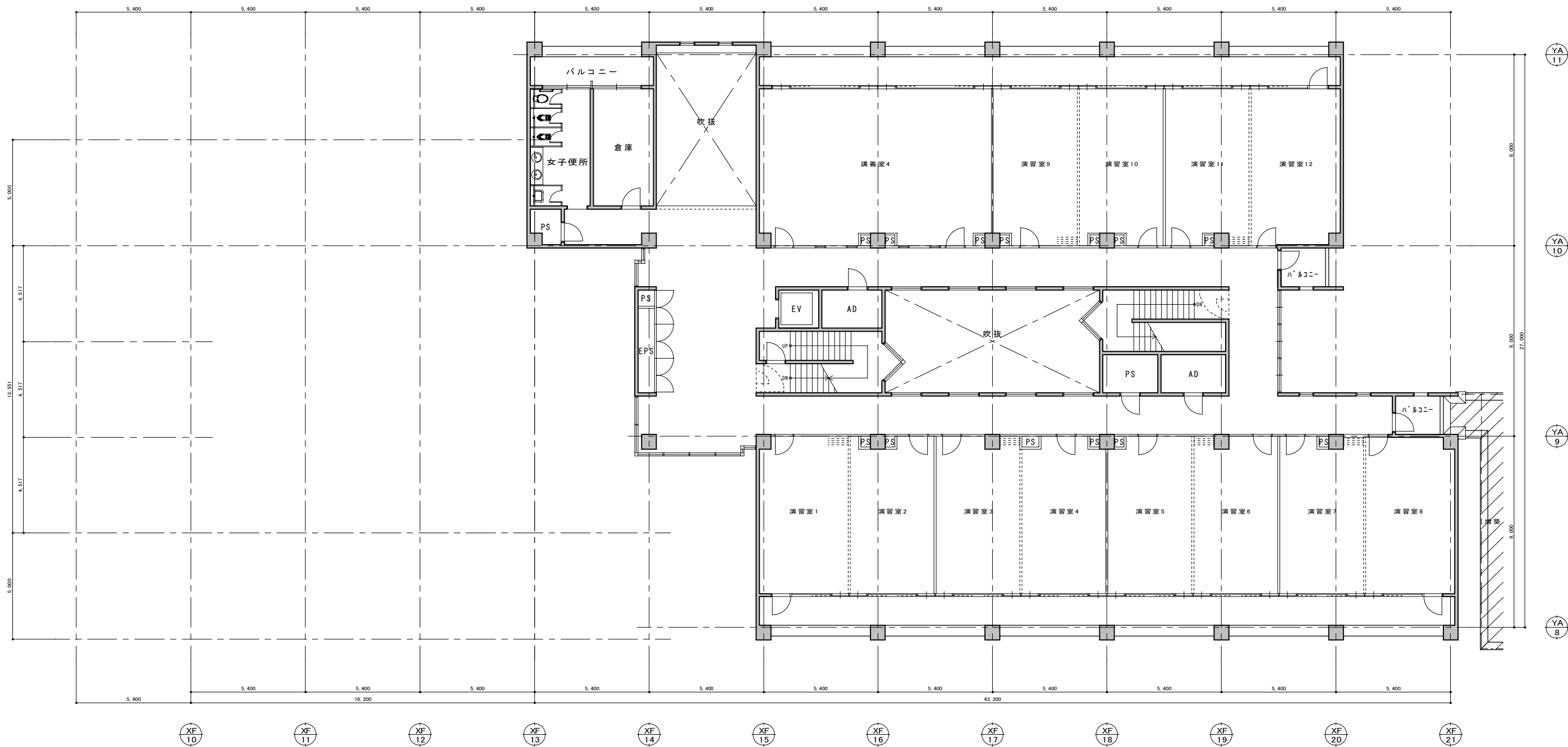
2 階平面図 S:1/100

改修対象外建物を示す。

屋根: 平面 水洗い、下地処理、塗膜防水 X-1工法新設
立上り 水洗い、下地処理、塗膜防水 X-2工法新設

- ステンレス脱気筒
- ドレイン: 縦引き二重ドレイン新設(塩ビ製)
- ドレイン: 横引き二重ドレイン新設(塩ビ製)

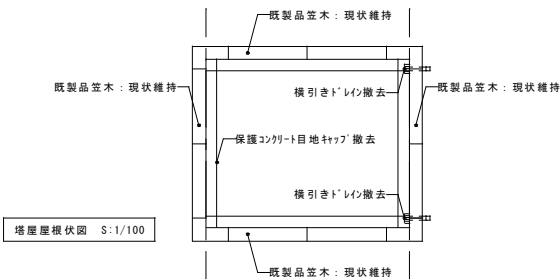
備 考		公益財団法人 三重県建設技術センター	Job Title 三重県立看護大学講義棟・機械棟屋上防水改修工事						DATE	
									2026年 ー 06月	
			Drawing Title 講義棟 改修後 2 階平面図						SCALE	
									A1:1/100 A3:1/200	
			図 封 閉 画							
								A - 1 1		



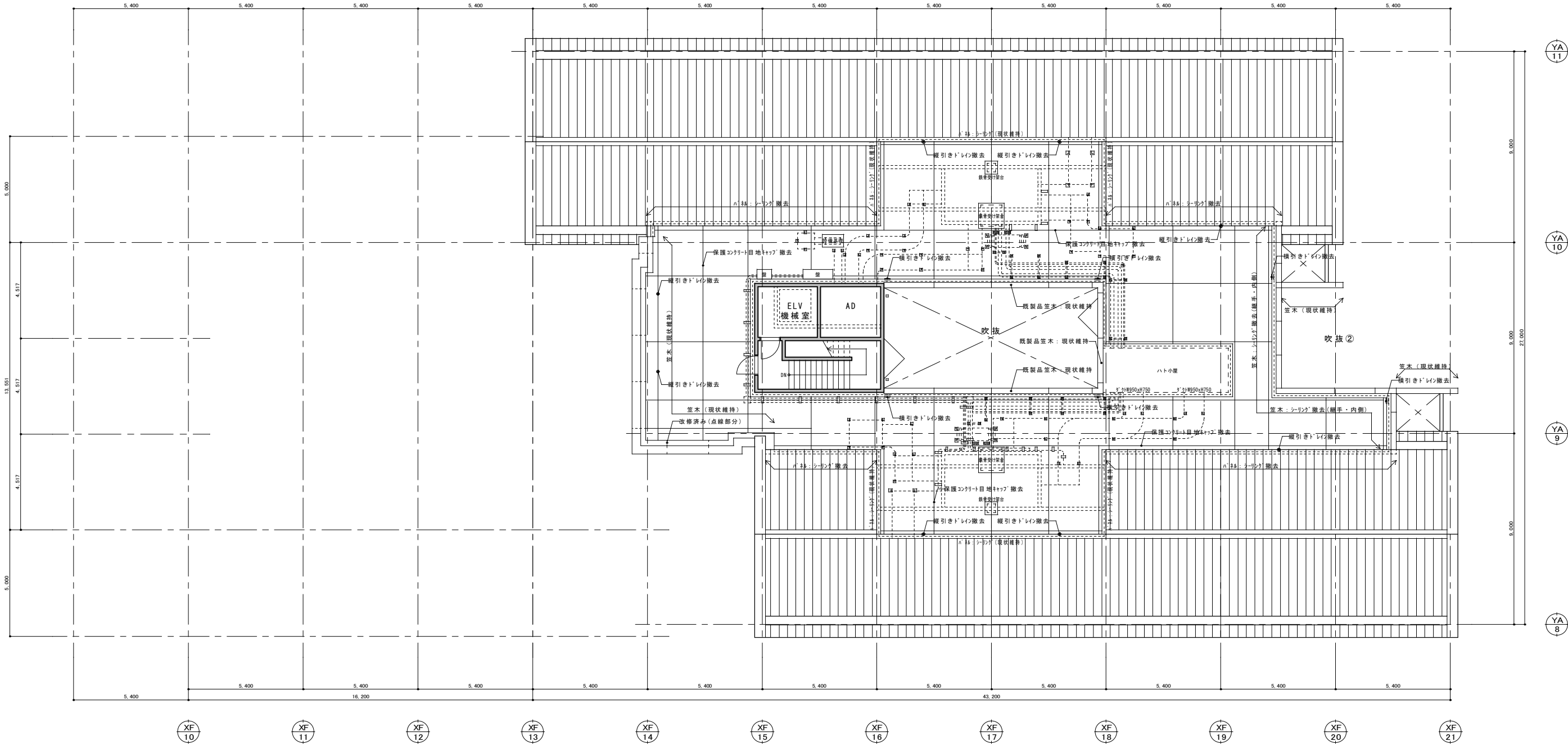
3 階平面図 S:1/100

改修対象外建物を示す。

備 考		公益財団法人 三重県建設技術センター	Job Title 三重県立看護大学講義棟・機械棟屋上防水改修工事 Drawing Title 講義棟 3 階平面図 設計者	DATE 2026 年 ー 06 月 SCALE A1:1/100 A3:1/200	
				A - 1 2	



仕上表	
屋根	平 面：伸縮目地撤去・シーリング、水洗い、下地処理、塗膜防水 X-1工法 新設
	立上り：水洗い、下地処理、塗膜防水 X-2工法 新設
	ステンレス脱気筒 新設 (7ヶ所、塔屋1ヶ所)
ドレイン	鋳鉄製縦引きドレイン 撤去、縦引き二重ドレイン新設 (塩ビ製)
	鋳鉄製横引きドレイン 撤去、横引き二重ドレイン新設 (塩ビ製)
アルミ笠木	笠木：現状維持 継手・立上り (内側)：シーリングMS-2 15x10 撤去、新設
パネル	パネル：現状維持 継手・立上り：シーリングMS-2 15x10 撤去、新設 (パネル#400、シーリング L=400)
空調室外機	一時持ち上げ・再設置 (設備工事)
外壁	
	水洗い、防水形複層塗材 E (セメント系下地調整塗材 C-1)

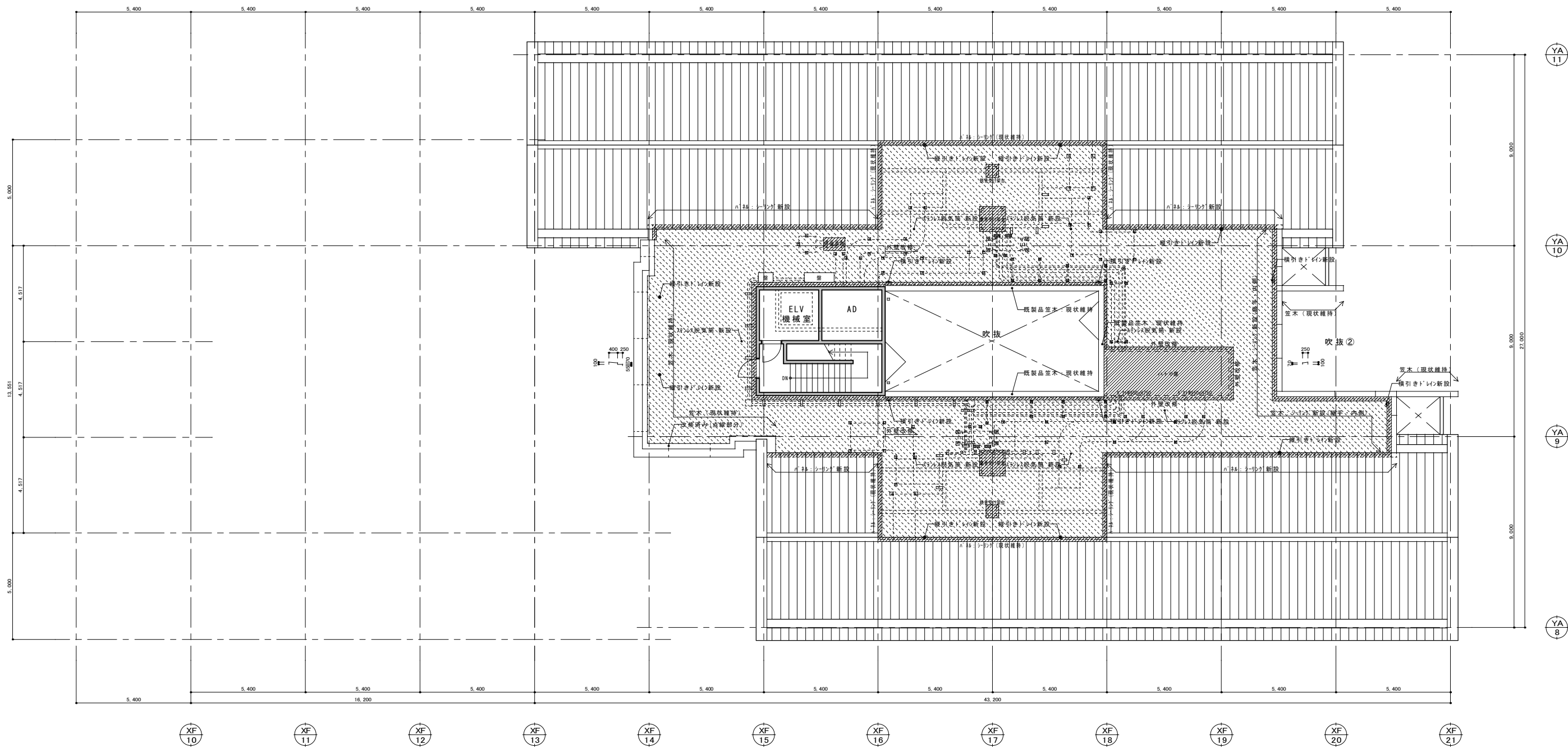
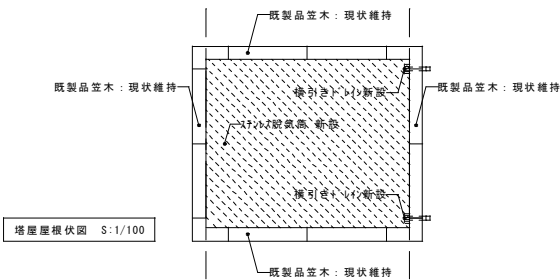


塔屋平面図 S:1/100

改修対象外建築物を示す。

伸縮目地撤去部分：伸縮目地処理 シーリング

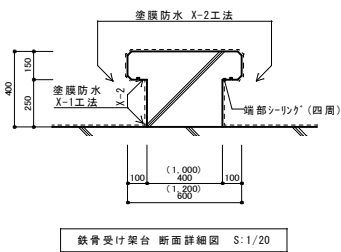
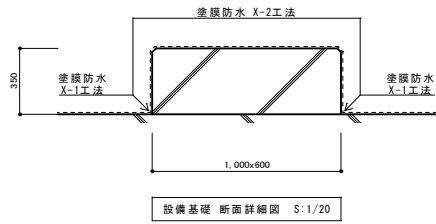
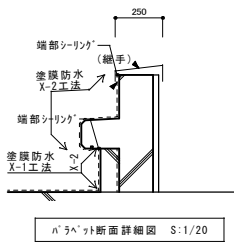
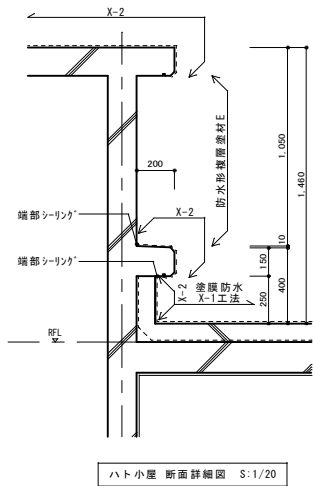
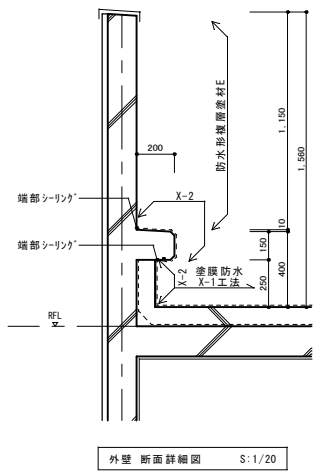
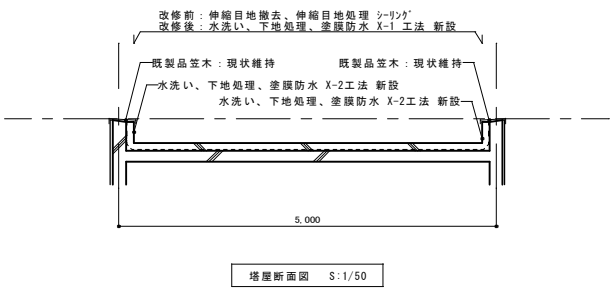
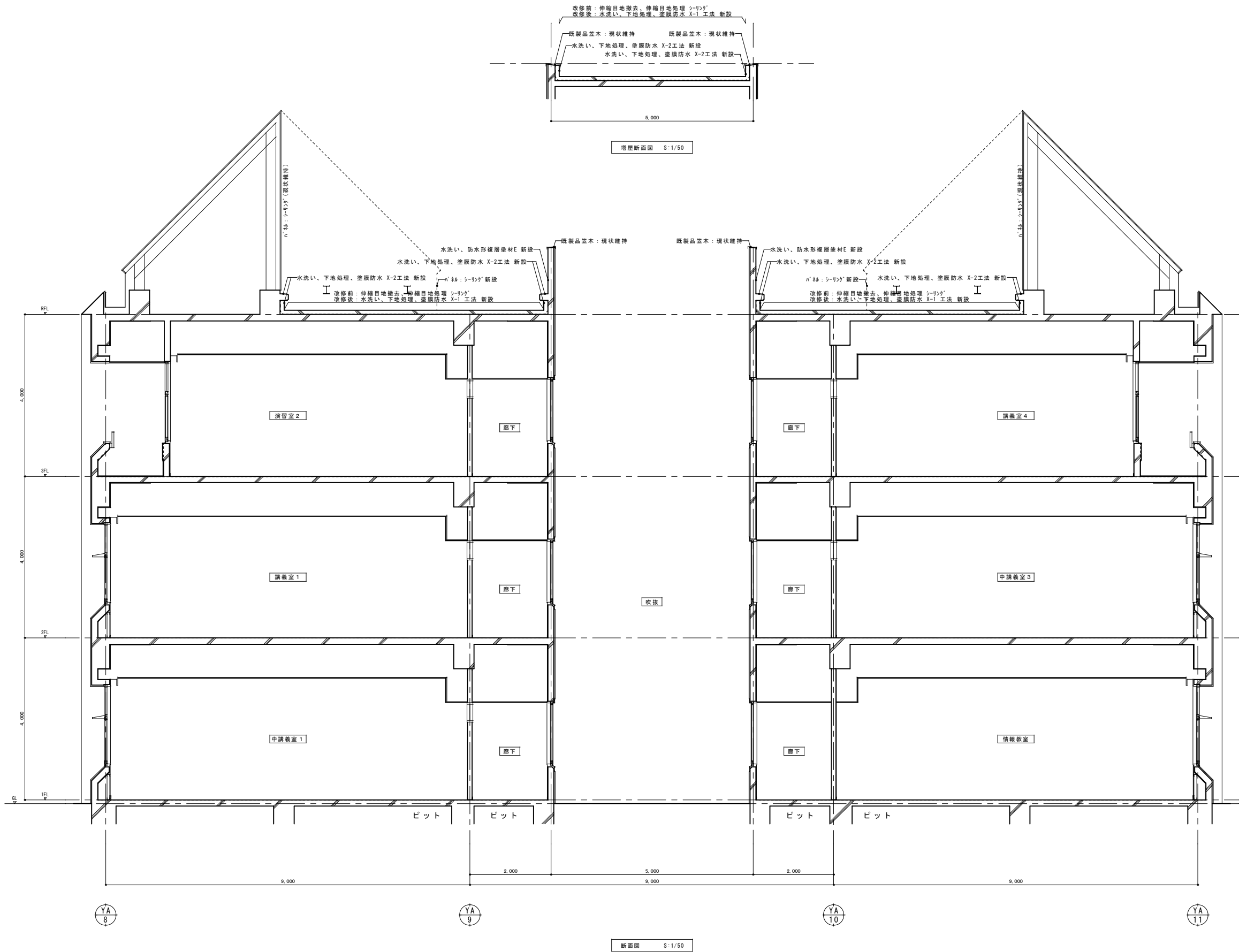
- ◆ ドレイン：縦引きドレイン撤去
- ドレイン：横引きドレイン撤去



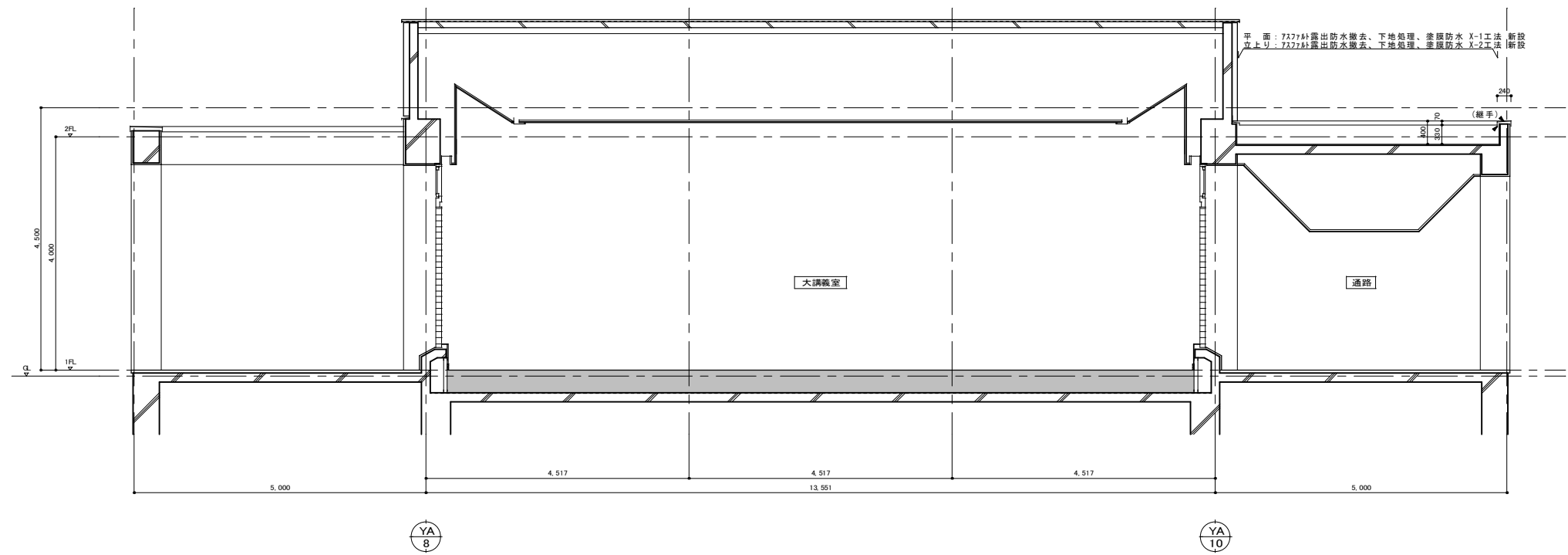
塔屋平面図 S:1/100

改修対象外建物を示す。

- 屋根: 平面 : 水洗い、下地処理、塗膜防水 X-1工法新設
立上り : 水洗い、下地処理、塗膜防水 X-2工法新設
保護コンクリート目地部 : 干渉防止用7&5プレート0.3 W60
- 梁台・天端 : 水洗い、下地処理、塗膜防水 X-2工法新設
- ステンレス脱気筒
- ドレイン: 縦引き二重ドレイン新設(塩ビ製)
- ドレイン: 横引き二重ドレイン新設(塩ビ製)

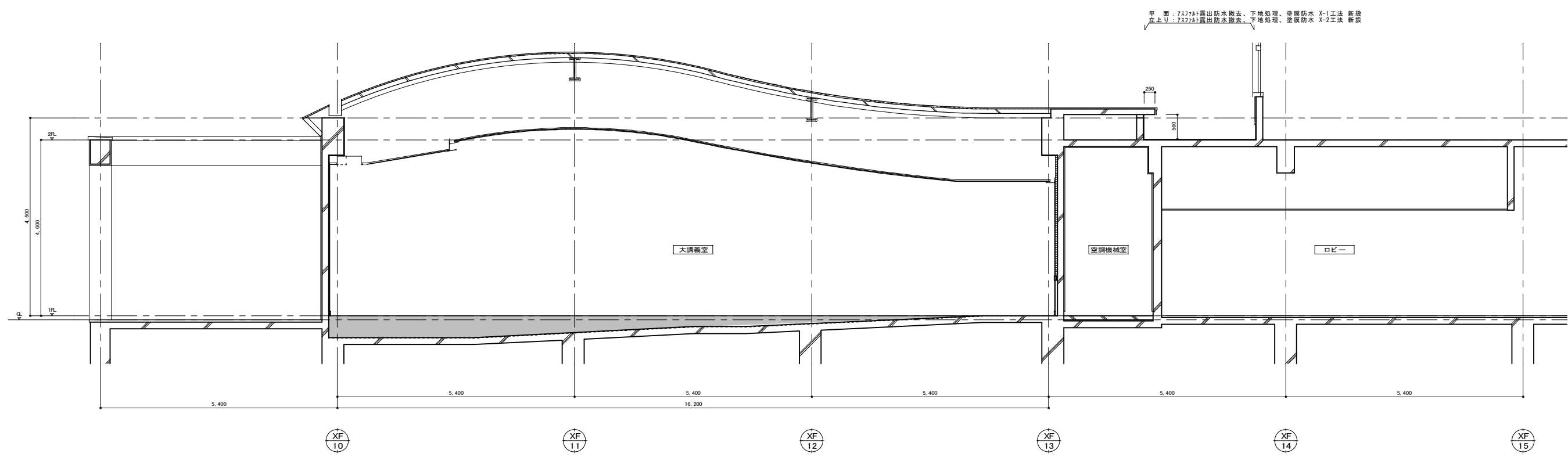
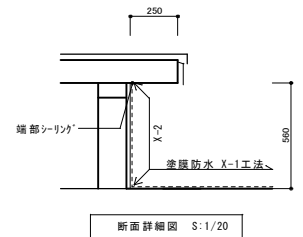
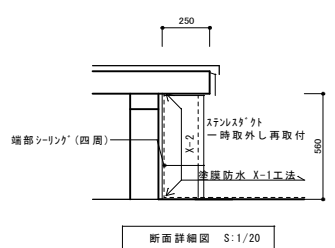


備 考		公益財団法人 三重県建設技術センター	Job Title 三重県立看護大学講義棟・機械棟屋上防水改修工事						DATE 2026年 ー 06月	
			Drawing Title 講義棟 断面図 1						SCALE A1:1/20.50 A3:1/40.100	
			設計者							
								A-15		



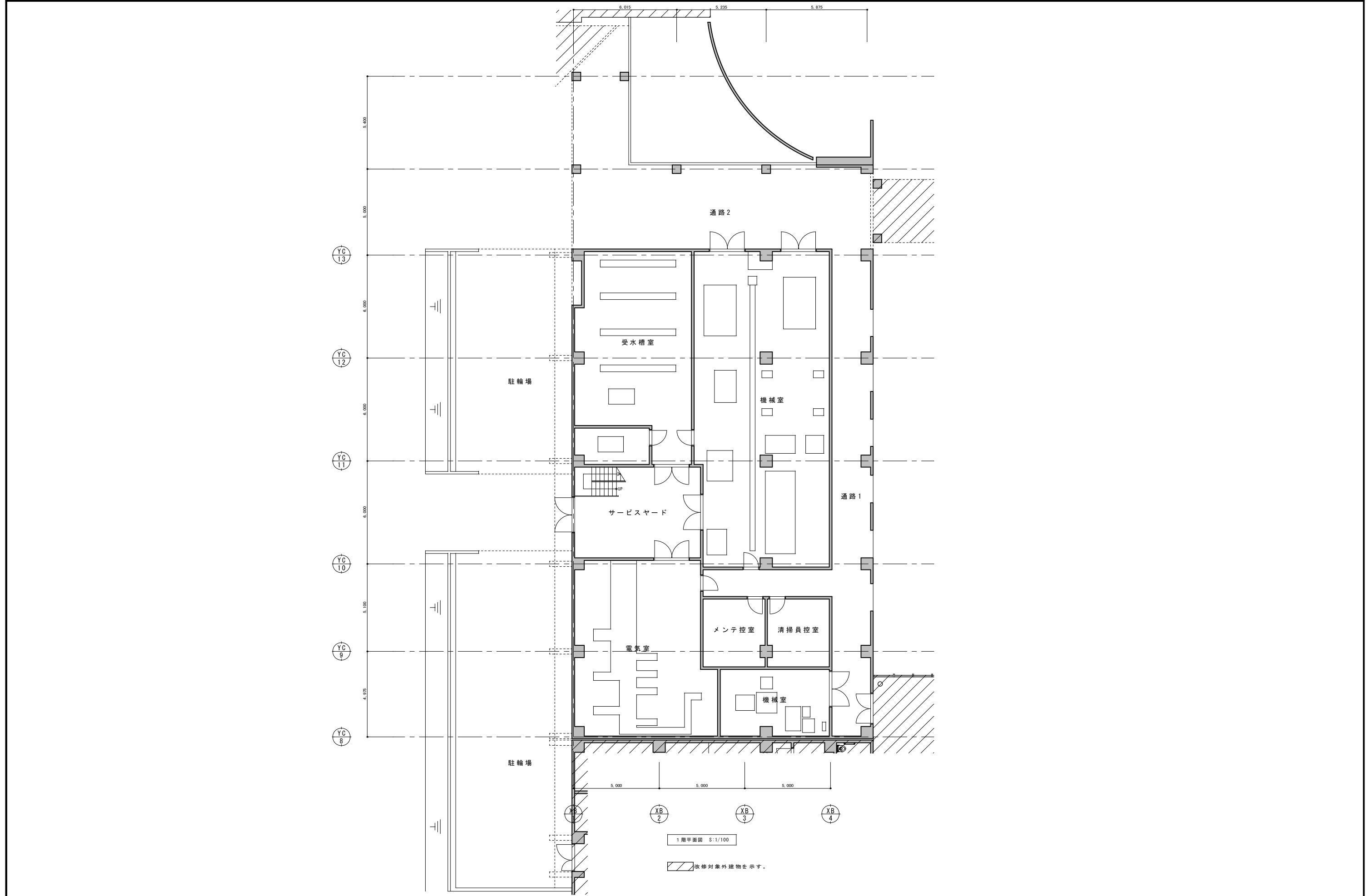
断面図 S:1/50

◀ シーリング撤去、新設を示す。

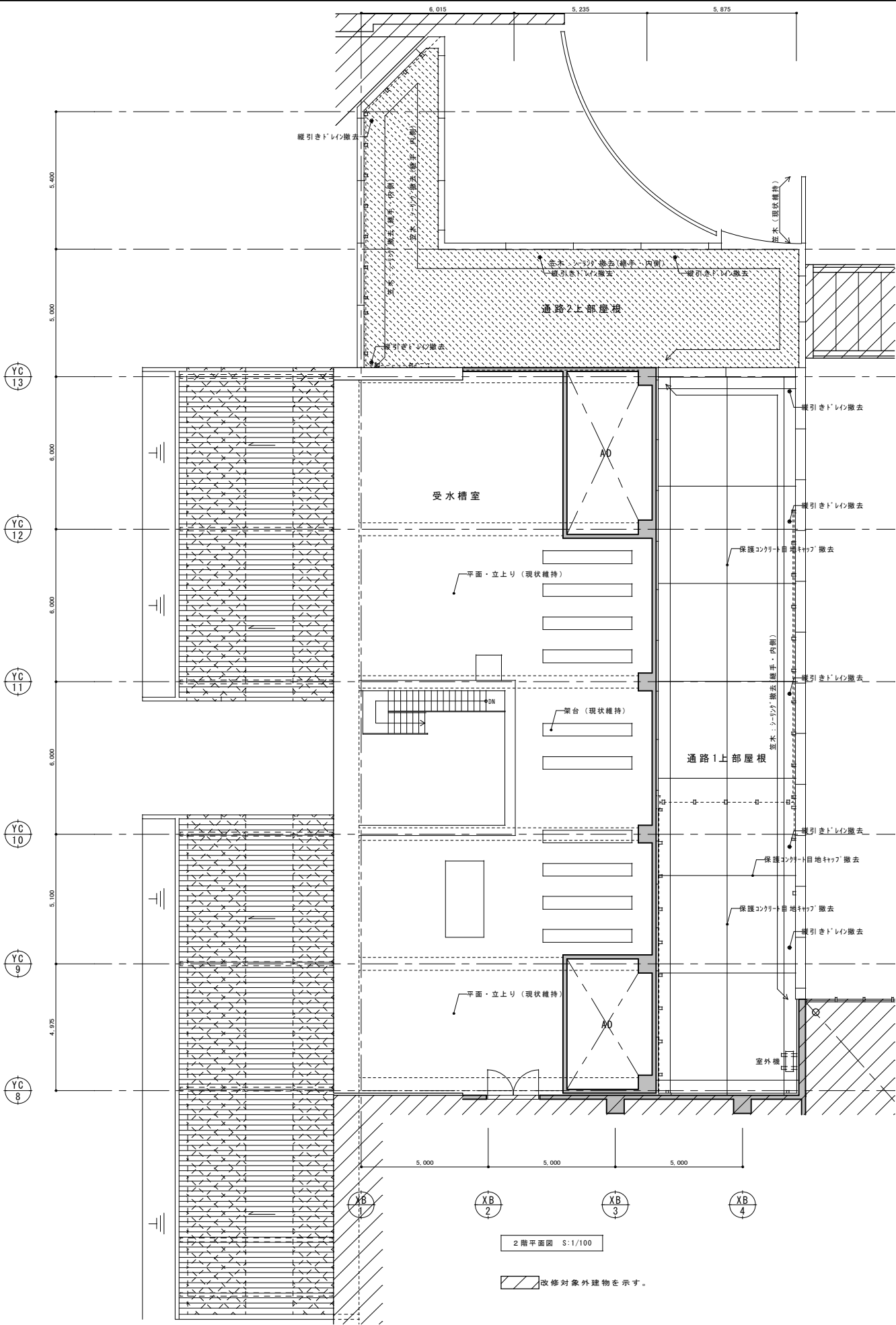


断面図 S:1/50

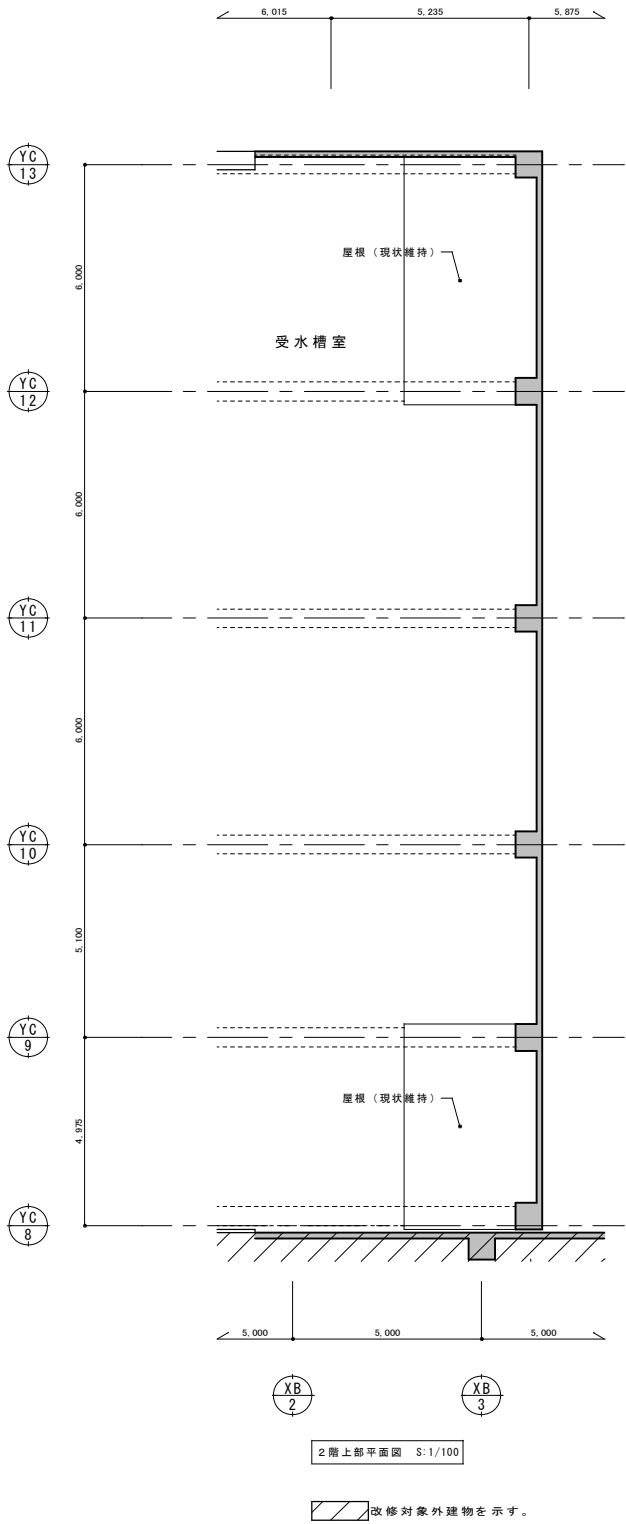
備 考		公益財団法人 三重県建設技術センター	JOB TITLE 三重県立看護大学講義棟・機械棟屋上防水改修工事						DATE 2026年ー06月	
			DRAWING TITLE 講義棟 断面図 2						SCALE A1:1/20,50 A3:1/40,100	
			設計者						A-16	

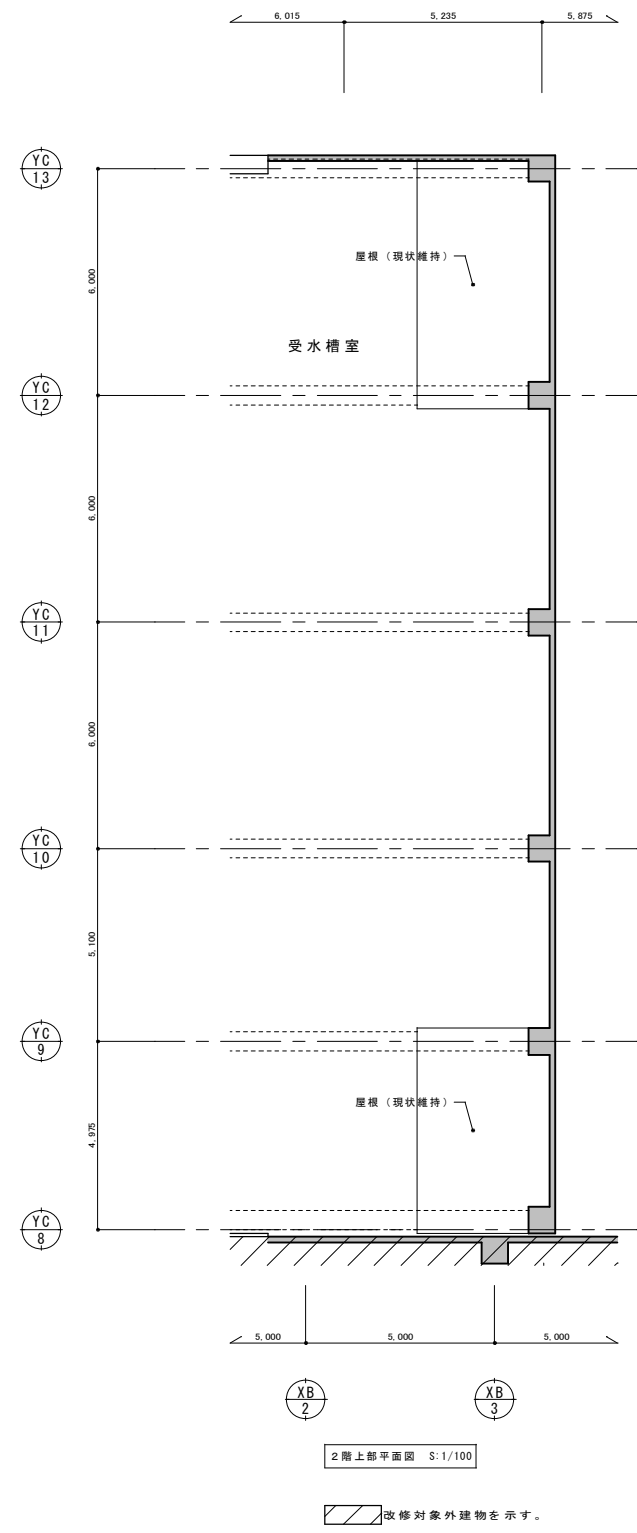
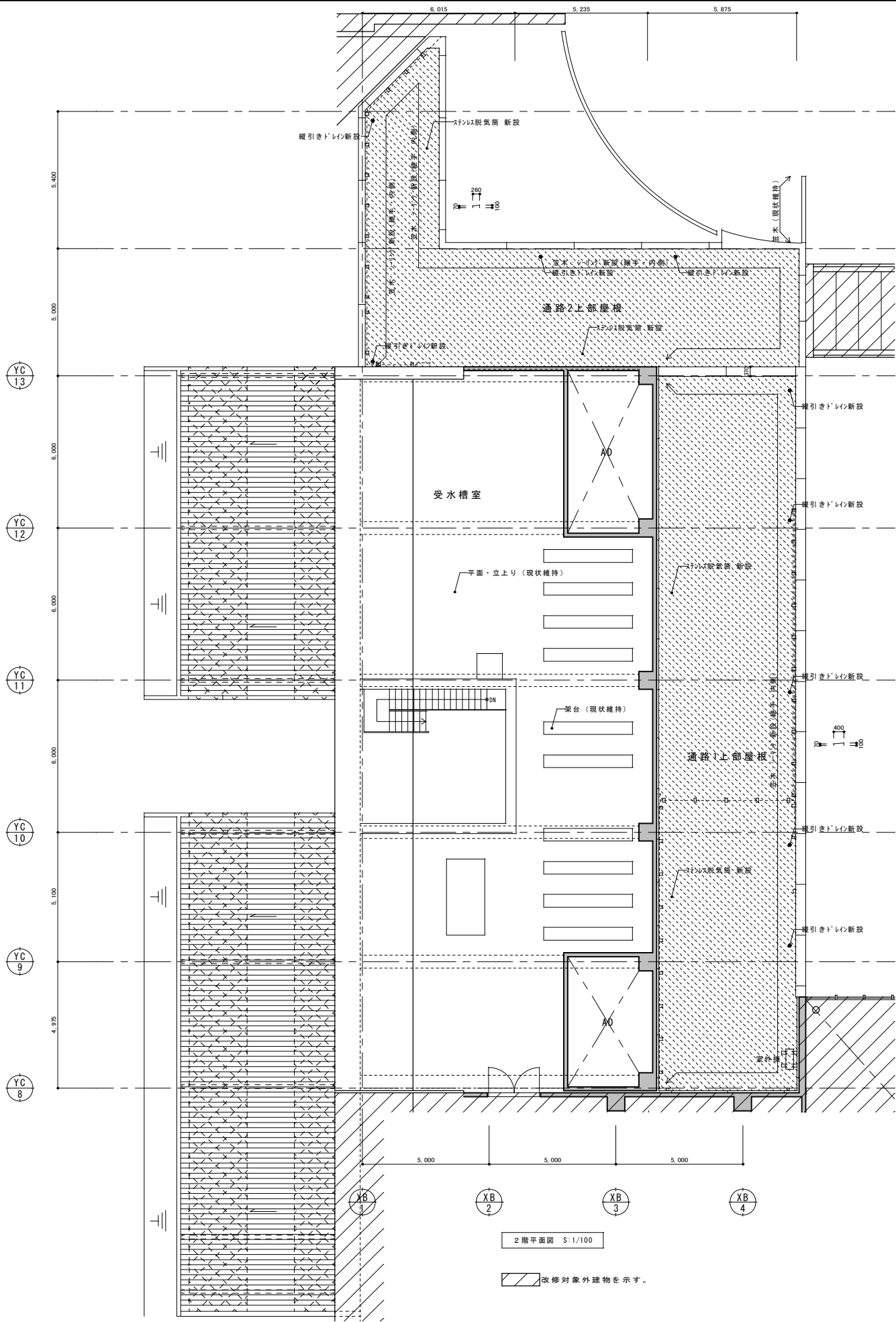


備考		公益財団法人 三重県建設技術センター	Job Title 三重県立看護大学講義棟・機械棟屋上防水改修工事						DATE	
									2026年 ー 06月	
			Drawing Title 機械棟 1階平面図						SCALE	
									A1:1/100 A3:1/200	
			設計標準						A-17	

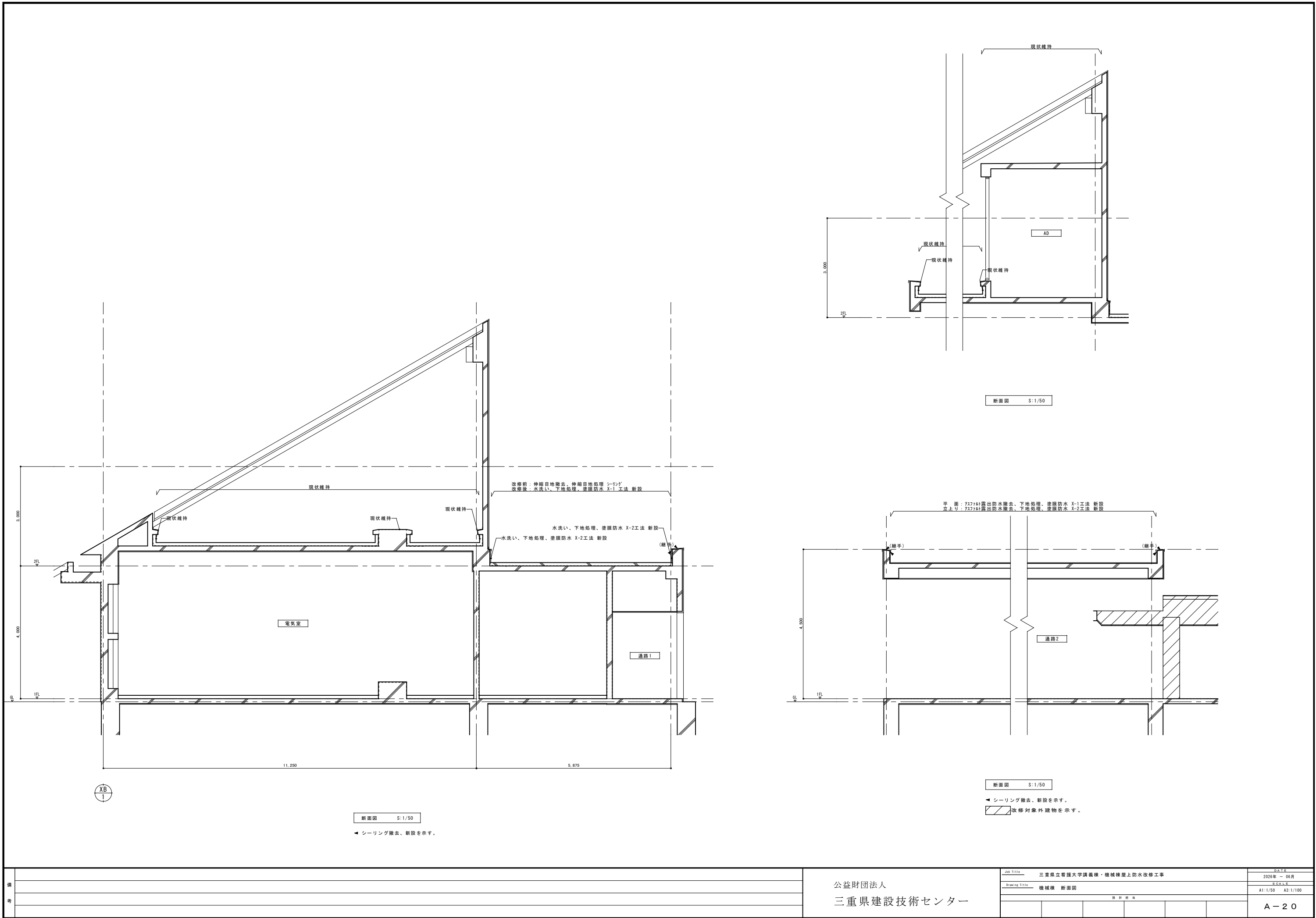


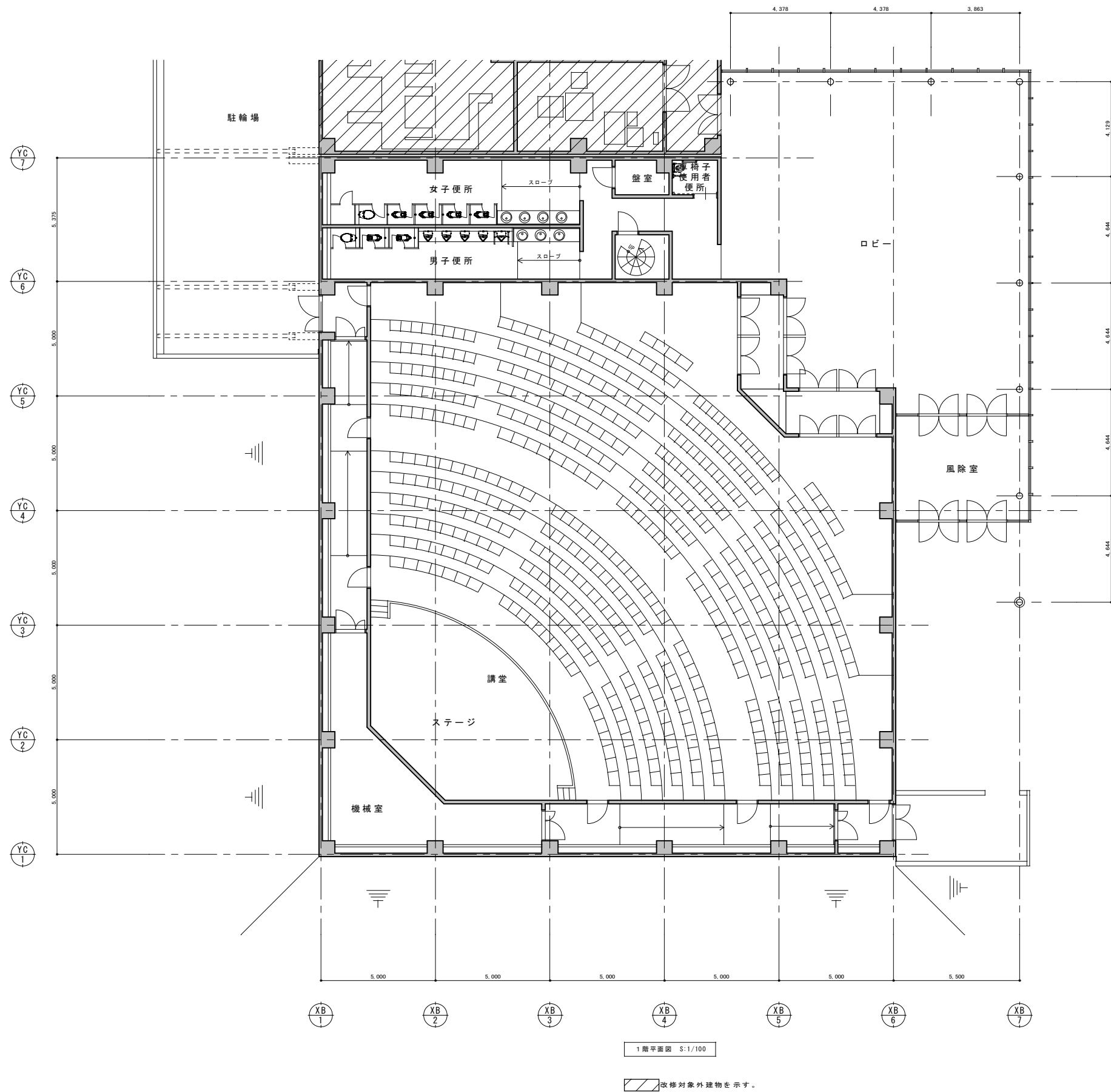
仕上表	
通路1上部屋根	平 面：伸縮目地撤去・ケラフ、水洗い、下地処理、塗膜防水 X-1工法 新設
	立上り：水洗い、下地処理、塗膜防水 X-2工法 新設
	ステンレス脱気筒 新設（2ヶ所）
通路2上部屋根	平 面：アスファルト露出防水撤去、下地処理、塗膜防水 X-1工法 新設（撤去後、仮防水を行うこと。）
	立上り：アスファルト露出防水撤去、下地処理、塗膜防水 X-2工法 新設（撤去後、仮防水を行うこと。）
	ステンレス脱気筒 新設（2ヶ所）
ドレイン	鋼鉄製縦引きドレイン 撤去、縦引き二重ドレイン新設（塩ビ製）
アルミ笠木	笠木：現状維持 継手・立上り（内側）：シーリングMS-2 15x10 撤去、新設
設備用ソケット・ロッケ台	一時持ち上げ・再設置

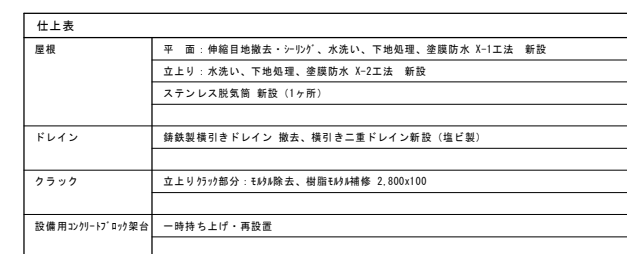
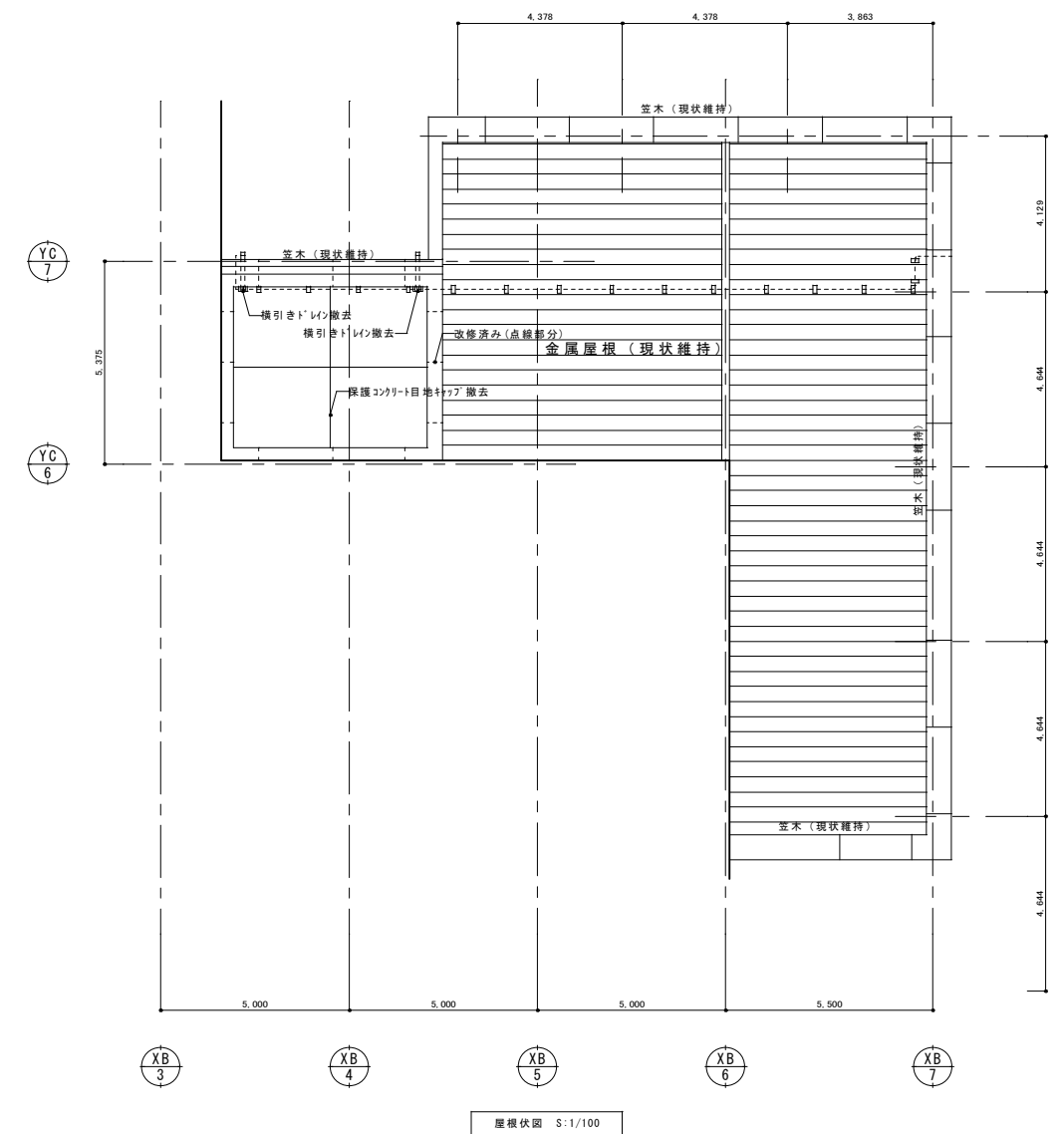




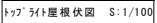
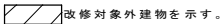
- 屋根: 平面 水洗い、下地処理、塗膜防水 X-1工法新設
立上り 水洗い、下地処理、塗膜防水 X-2工法新設
保護コンクリート目地部 干渉防止用7&2プレートt0.3 W60
- 架台・天端 : 水洗い、下地処理、塗膜防水 X-2工法新設
- ・ ステンレス脱気筒
- ・ ドレン: 縦引き二重ドレン新設(塩ビ製)
- 設備用コンクリートブロック架台: 一時持ち上げ・再設置



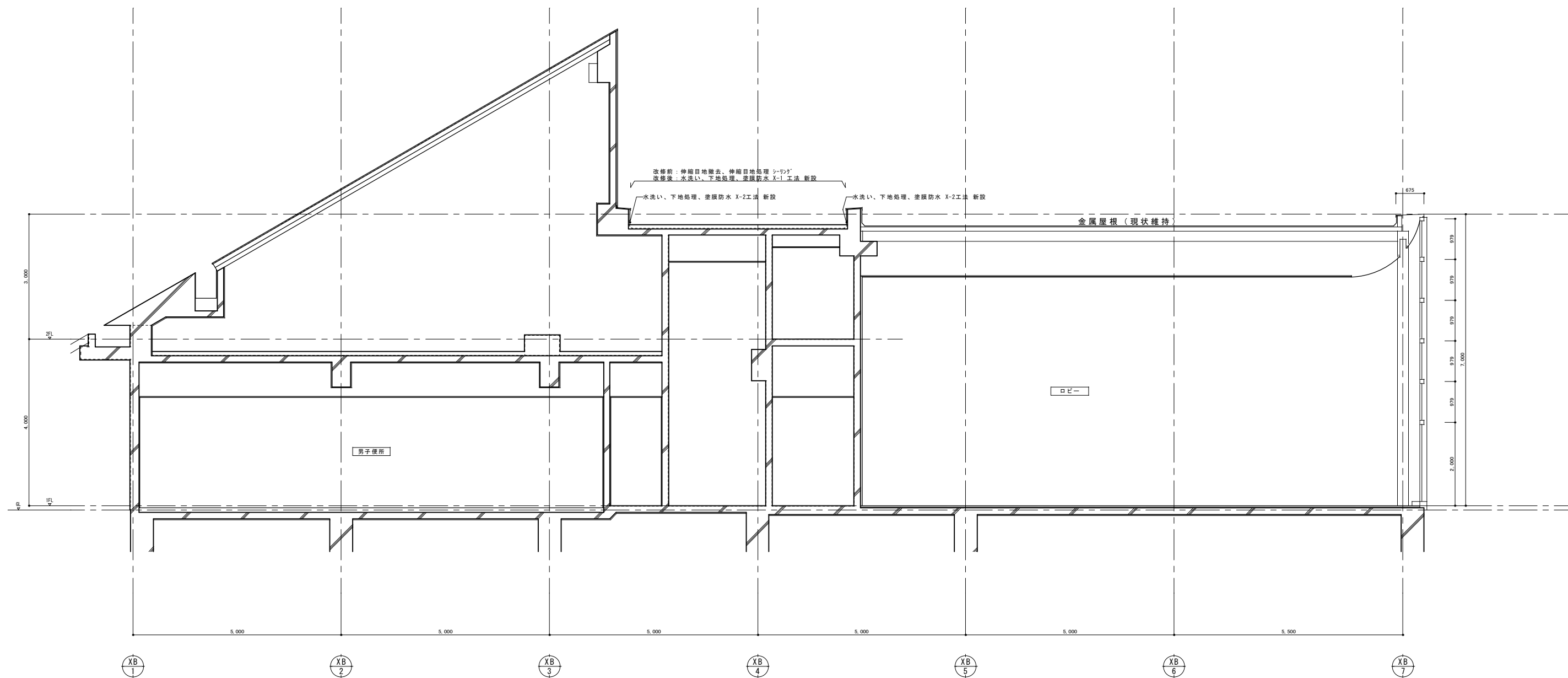




■ ドレイン：横引きドレイン撤去



□ 設備用コンクリートブロック架台：一時持ち上げ・再設置



断面図 S:1/50

備 考		公益財団法人 三重県建設技術センター	Job Title 三重県立看護大学講義棟・機械棟屋上防水改修工事						DATE 2026年 〇 06月	
			Drawing Title 講堂 断面図						SCALE A1:1/50 A3:1/100	
			設 計 者 氏 名						A - 2 4	